

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

<15週> 流行性耳下腺炎 - 過去5年の同時期と比べ定点当たり  
報告数がかかなり多い / その他最新動向  
<3月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症  
P.7

<麻疹> 過去5年間の同時期と比較して定点当たり報告数がか  
かなり多い状態が続いている



病原体情報  
P.8

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウ  
イルスおよびSRSV検出報告



速報  
P.9-10

麻疹の流行 - 高知県 / 札幌市における麻疹流行とその対策



海外感染症情報  
P.11-12

南アフリカのコレラ流行 - 更新 / 他



感染症の話  
P.13-16

A型肝炎  
糞便中に排泄されたA型肝炎ウイルス(HAV)  
の経口感染で起こる疾患であるため、患者  
の発生は衛生環境に影響されやすい



読者のコーナー  
P.17

マラリアの予防  
薬について



グラフ総覧(15週)  
P.18-24



グラフ総覧(3月)  
P.25-29



3月のデータ  
P.30-33

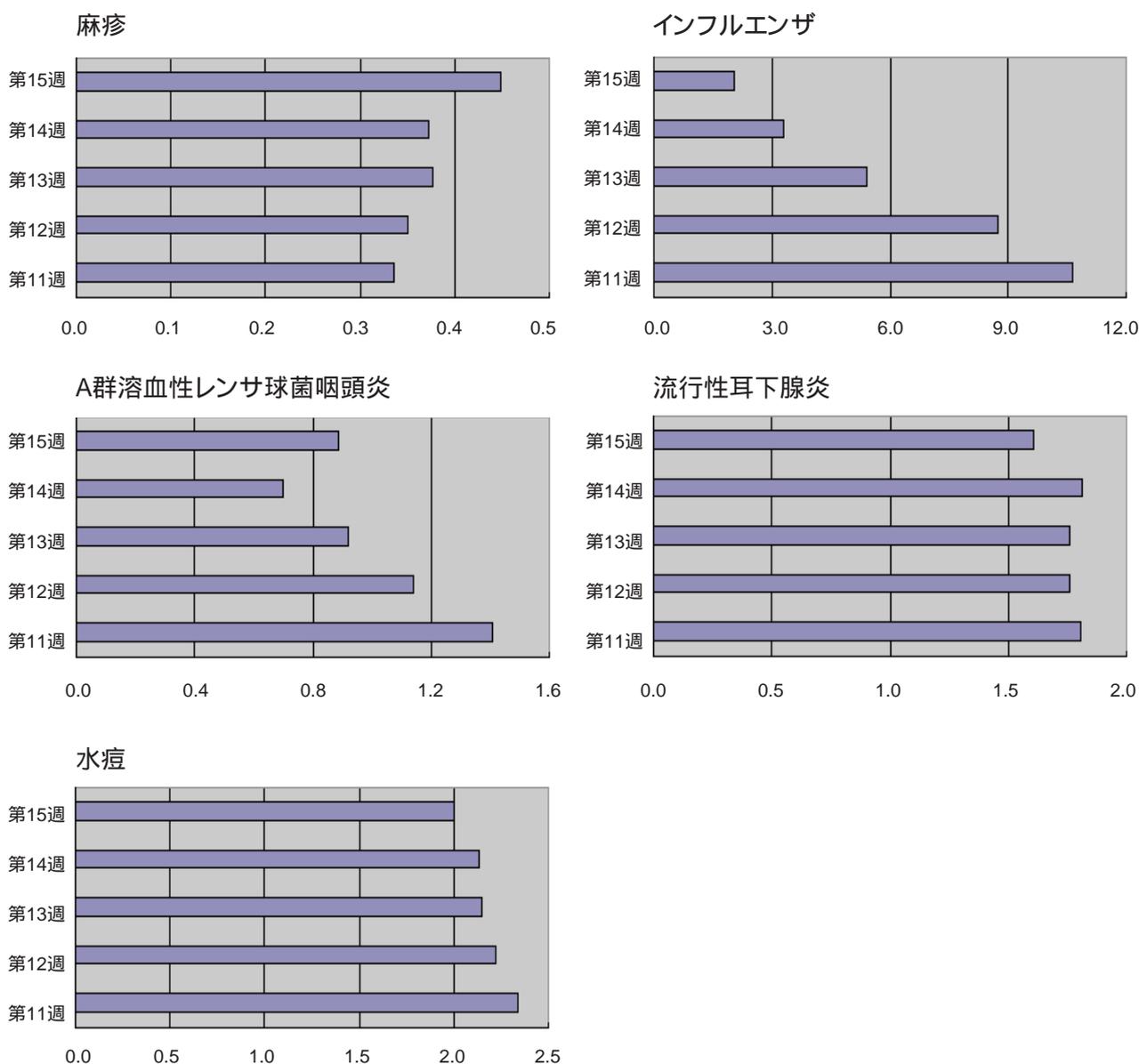


15週のデータ  
P.34-41



## 最近の注目疾患-5週間の動き

麻疹の定点当たり報告数は前週より増加し、全体として増加傾向にある。麻疹は例年6月ごろまで患者の増加がみられるため、過去5年間と比較して定点当たり報告数の多い状態が続いているだけに、十分な注意が必要である。インフルエンザの定点当たり報告数は4週続けて減少した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少傾向にあったが、今週は前週より定点当たり報告数が増加しており、例年6月頃に向け患者が増加する傾向があるので、今後も注意が必要である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週よりやや減少したが、依然例年よりかなり多い状態が続いている。水痘の定点当たり報告数は緩やかな減少傾向にある。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

### 3月コメント

#### 性感染症について (4月11日集計分)

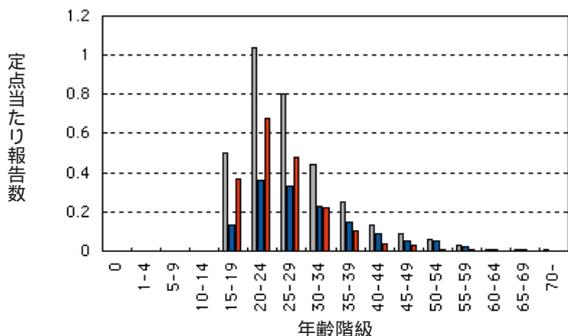
3月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.38(男1.43、女1.95)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.86(男0.37、女0.50)、尖形コンジロームが0.46(男0.26、女0.20)、淋菌感染症が1.62(男1.35、女0.27)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。総数でみると4疾患全てにおいて、前月および前年同月に比べて増加傾向が認められた(25~28ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾患でもピークは20~29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では、50代以降の高年齢層からも一定の割合で報告されている。全体の男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.36、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.35、尖形コンジローム(図1c)で1:0.77、淋菌感染症(図1d)で1:0.20であったが、淋菌感染症を除き若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(3月の性感染症定点総数は913)

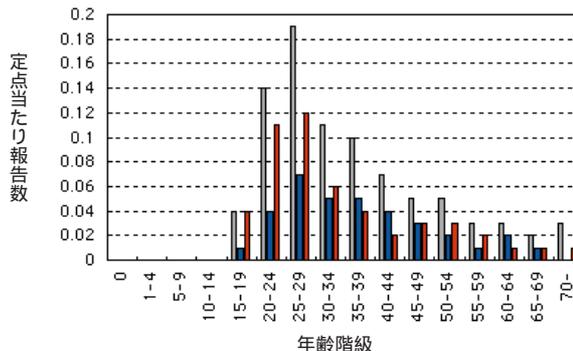
感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15~24歳)での性感染症の動向を検討するため、月別定点当たり患者報告数の推移を図2に示した。夏に増加し、冬に減少する傾向が見られる。男性では、この年齢層では、淋菌感染症より性器クラミジア感染症の報告数が多い(図a)、女性では(図b)性器クラミジア感染症、淋菌感染症の明らかな増加傾向が認められる。今後、夏にかけて、若年齢層での性感染症の発生動向が特に注目される。

【注】各性感染症の月別定点当たり報告数グラフの1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

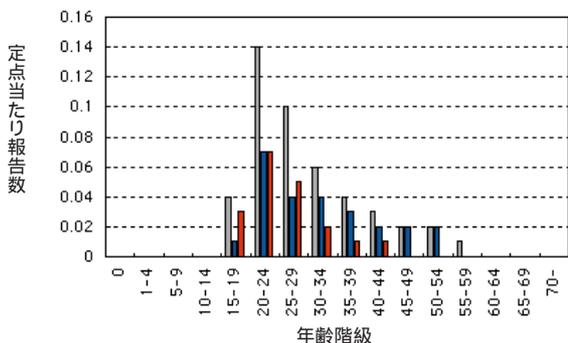
a. 性器クラミジア感染症



b. 性器ヘルペスウイルス感染症



c. 尖形コンジローム



d. 淋菌感染症

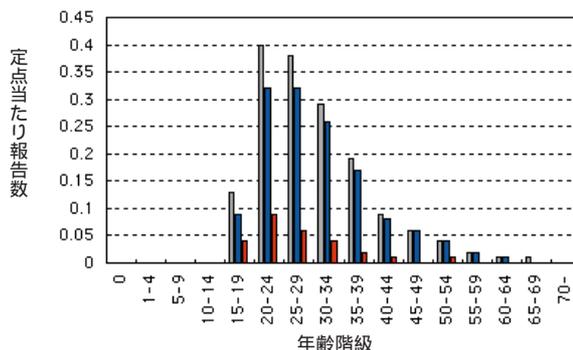


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

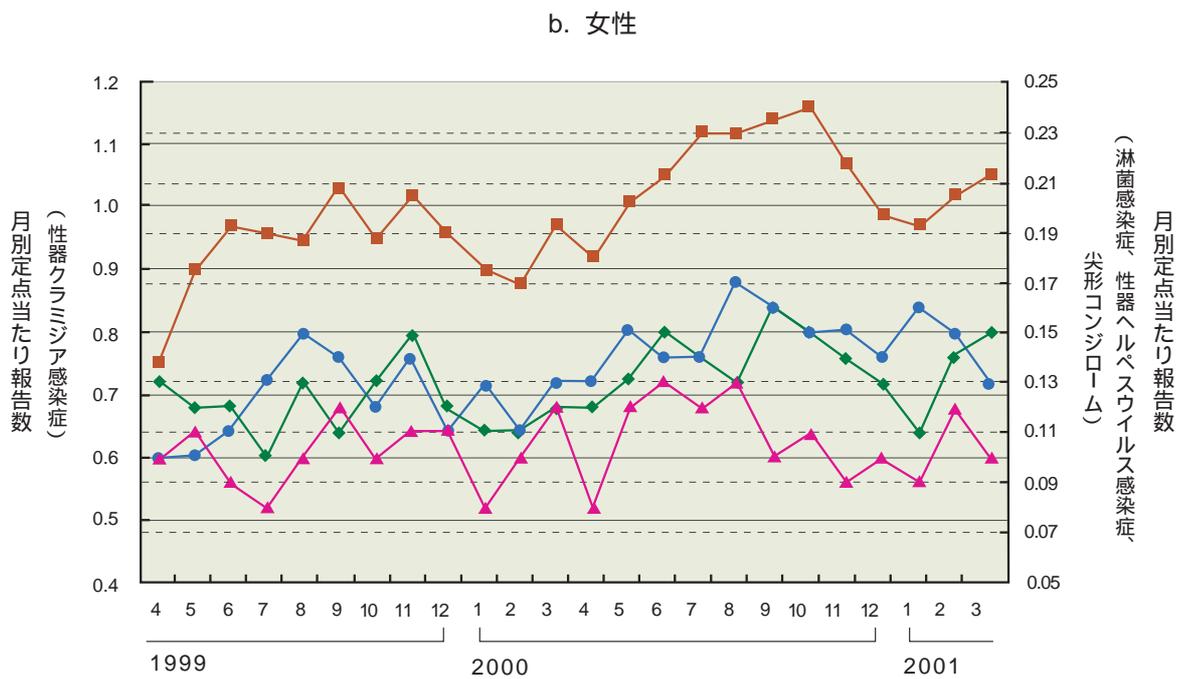
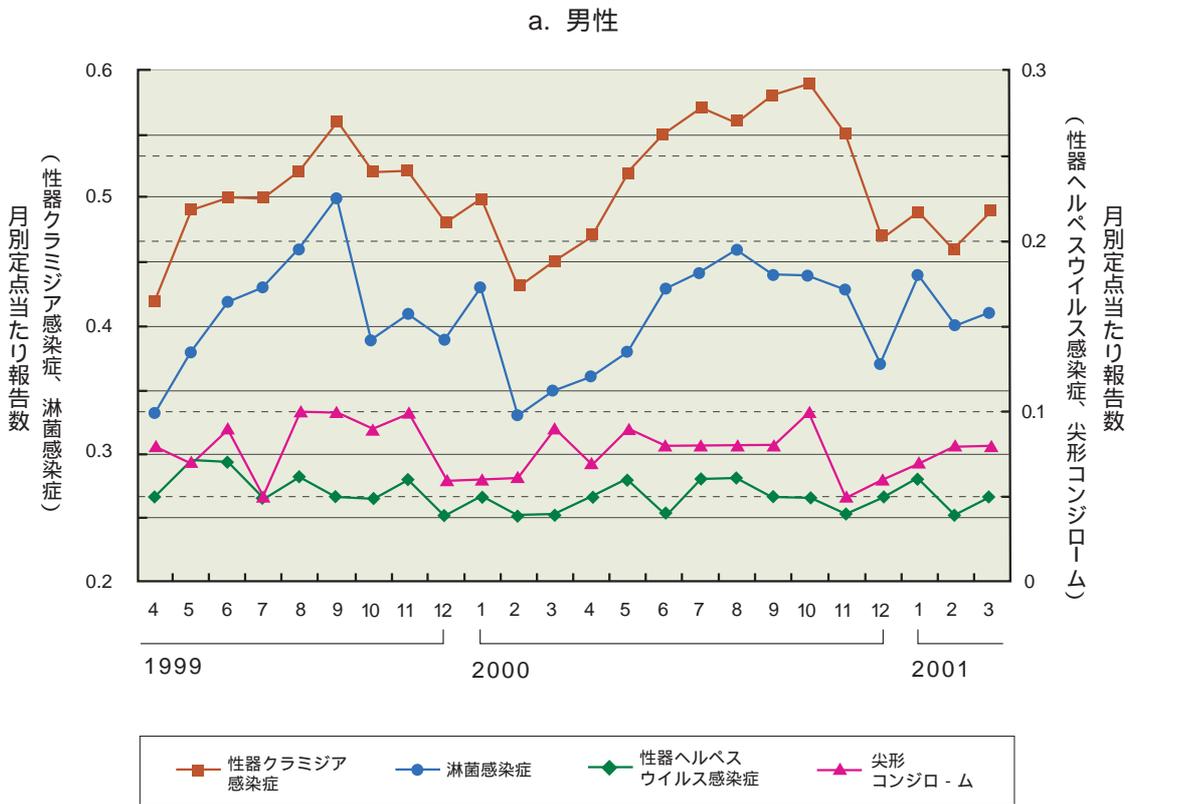


図2. 若年齢層(15～24歳)での性感染症の月別定点当たり報告数 (1999年4月～2001年3月)

## 薬剤耐性菌について (4月11日集計分)

【注】 )内の+、-は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少を表す。

3月の基幹定点総数: 444 .

3月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症 3.4( + )

ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症 0.92( - )

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.09( - )

年齢階級別: MRSA感染症.....0歳、1～4歳と高齢者に多く、報告数の55%は70歳以上。

PRSP感染症.....1-4歳が最も多く、全体の約4割を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く見られ、全体の63%が70歳以上。

## 結核サーベイランス月報 (4月19日集計分)

3月の新登録患者数は2,878人、活動性肺結核患者は2,360人(うち喀痰塗抹陽性患者は1,040人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初\*は757人、非定型抗酸菌陽性者数は173人であった。

\*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告( <http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm> )をご覧ください。

<お詫びと訂正>

結核サーベイランス月報2月分の本誌掲載分( IDWR2001年第11週: 通巻第3巻第11号 )において、2月のマル初が51人、となっておりましたが、510人の間違いです。お詫びの上、訂正申し上げます。



# 注目すべき感染症

## 麻疹流行状況

2001年は当初より、高知県、奈良県、九州地方(下図参照)などで流行がみられ、過去5年間の同時期と比較して定点当たり報告数がかかなり多い状態が続いている。

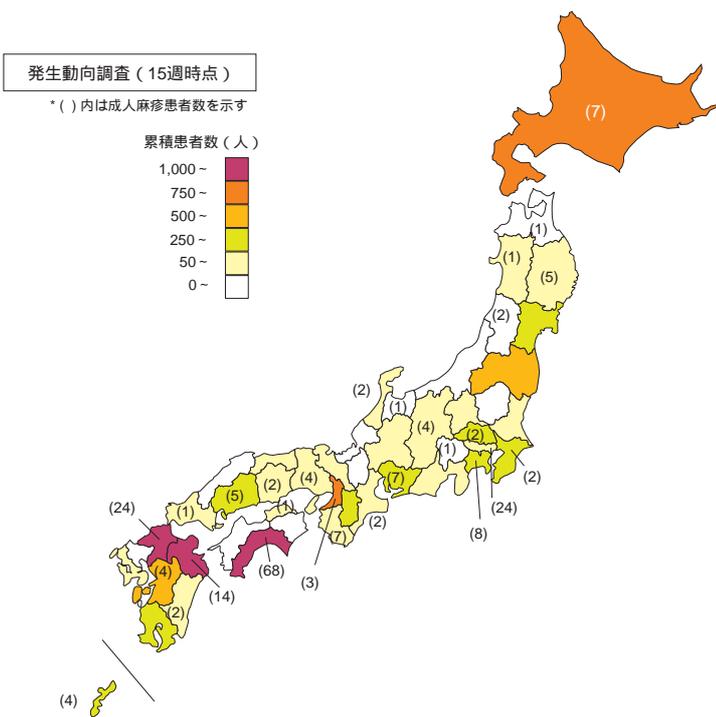
2001年第15週(4月9日～4月15日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は1,345で、定点当たり報告数は0.45である。2001年第1週からの累積患者数は12,154、性別内訳は男6,669、女5,485とやや男性に多い。累積報告数の年齢階級別では1歳未満1,565(うち6カ月未満142)、1歳2,644、2歳1,288、3歳907、4歳808、5～9歳2,781、10～19歳1,932、20歳以上229となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下感染症法)」に基づく本感染症発生動向調査では、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

また、上記で報告される麻疹とは別に「成人麻疹(18歳以上)」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2001年第1四半期(第1週～第13週)の成人麻疹累積報告数は172で、昨年同期の33と比較して5倍以上も多くなっている。とくに感染リスクの高い未感染の医療従事者には、予防接種の徹底が強く推奨される。

麻疹に罹患した場合、肺炎や脳炎による合併症による小児の死亡率は高く、医療状況の良い先進国で0.1～0.5%、途上国では10%前後にのぼる。麻疹の患者発生ピークは4～5月であり、今後の疾患の動向に注意が必要である。

<麻疹の予防について> (感染症情報センター長 岡部信彦)

麻疹に関しては、まさに予防に勝る治療はない。1歳を過ぎた子どもたちには、なるべく早いうちに定期接種としての麻疹ワクチン接種を行うことが麻疹対策上まず必要である。生後6カ月以降1歳前で感染の可能性がきわめて高い状況にあれば、任意接種として麻疹ワクチン接種が可能であるが、12～15カ月時に再接種を行う必要がある。1歳から7歳半(生後12～90カ月)までは定期接種の範囲内である。この年齢幅で接種をすませている子どもたちには、気がつき次第なるべく早くワクチン接種を済ませよう勤めていただきたい。7歳半を過ぎても、定期接種の年齢枠から外れるということを除けば、年齢を問わず任意接種として医学的には問題なくワクチン接種が可能である。感染歴、ワクチン歴が不明で、麻疹感染の可能性のある大人に対しても、あらかじめワクチンを接種しておくことが勧められる。仮に血清抗体の測定などをすることなく抗体陽性であった者にワクチン接種を行ったとしても、副反応等安全上の問題は特別なものはない。初回接種と同様の注意で十分である。





# 病原体情報

(2001年4月20日現在報告分)

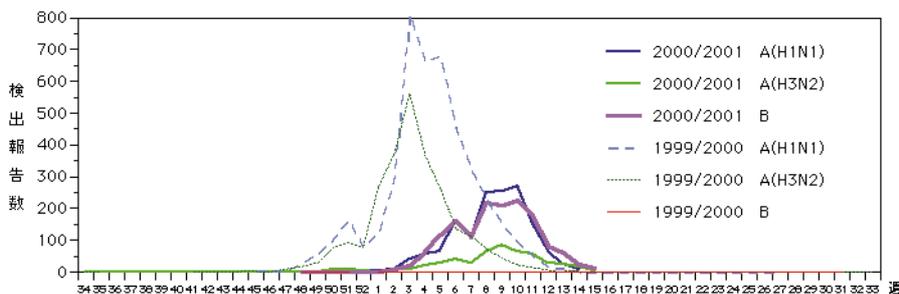
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

## インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,471件、A/香港(H3N2)型が507件、B型が1,489件報告されている。昨シーズンはA/ソ連(H1N1)型とA/香港(H3N2)型がともに第3週をピークとして分離されたが、今シーズンの各型のピークはこれより大きく遅れている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第14週に10(7県市)、A/香港(H3N2)型が第14週に18(12都県市)、第15週に3(横浜市、名古屋市)、B型が第14週に24(8都県市)、第15週に13(仙台市、横浜市、名古屋市、兵庫県、奈良県、広島市)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報: 2001年4月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



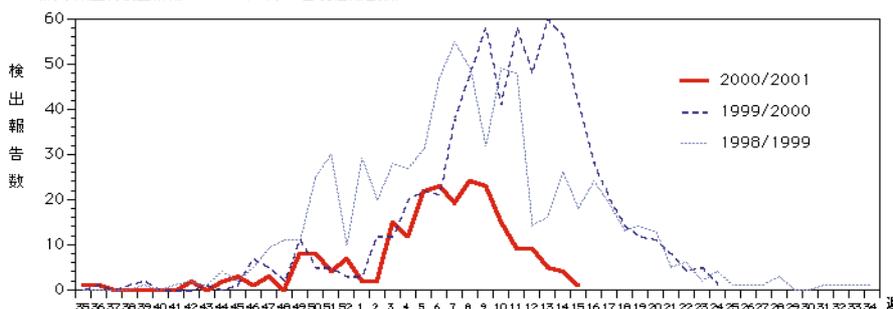
Infectious Agents Surveillance Report

## 感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は236件、SRSVの検出は690件報告されている。SRSVは、過去2シーズンと同様に第50週のピークに加えて、第6週にも滋賀県などからの報告増加により2峰性のピークとなっている。最近では、ロタウイルスは第14週に新潟県1、奈良県2、熊本県1、第15週に奈良県1、SRSVは第13週に栃木県1が報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去2シーズンとの比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2001年4月20日現在報告数)



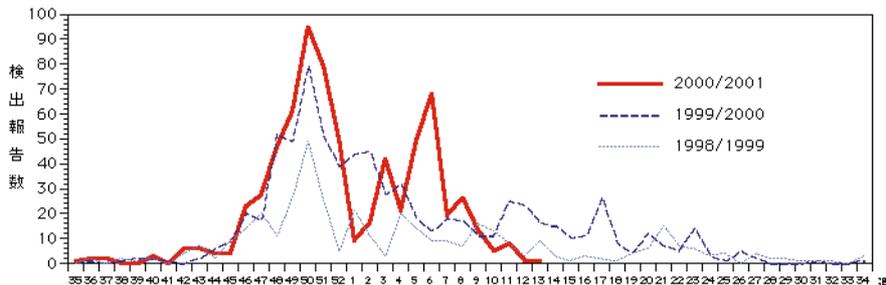
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV検出報告数、過去2シーズンとの比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2001年4月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 麻疹の流行 - 高知県

高知県では2000年4月より麻疹の流行が始まり、2001年4月現在、依然として高い水準で患者発生が続いている。この一年間の患者発生の報告数は、一定点当たり68.4人(2000年15週～2001年14週まで集計、全国は15.5人)であり、全国的にも最大規模で推移している。

この間当所には、感染症発生動向調査定点医療機関よりウイルス分離材料として、咽頭ぬぐい液(咽頭うがい液を含む)71、髄液5が持ち込まれた。このうち咽頭ぬぐい液から44株(分離率62%)の麻疹ウイルスを分離した。麻疹ウイルスの分離同定にはB95a細胞を使用した。

流行初期の分離株5株について、国立感染症研究所麻疹室に遺伝子型分類を依頼した結果、4株はD5タイプ、1株はD3タイプであった。D3タイプの株が分離された患者は、東京で罹患し帰省していた女子大生であったことから、高知県の今回の流行株はD5タイプと考えられる。

2000年5月～12月にかけて、定点医療機関等の協力で患者438名について調査した結果、推定感染場所は保育園・学校(14%)、家族内感染(13%)、医療機関(7%)の順であった。

年齢別では、好発年齢(1歳～5歳)のみならず、年長児、中高生、成人にも発生が見られている。

また、予防接種は患者の9割が受けておらず、受けた1割(20名)のうち45%(9名)が10～34歳であった。県下の平均予防接種率は70%前後と低迷しており、麻疹の流行は十分に抑制されているとはいえない。今回の流行は1997年に小流行があって以来3年ぶりの流行であった。

今後の流行抑制のためには、ワクチン接種率の向上が不可欠と考えられる。

我々は今後、県民と一体となり、進んで予防接種を受けられる環境づくりのため努力したいと考えている。

高知県衛生研究所

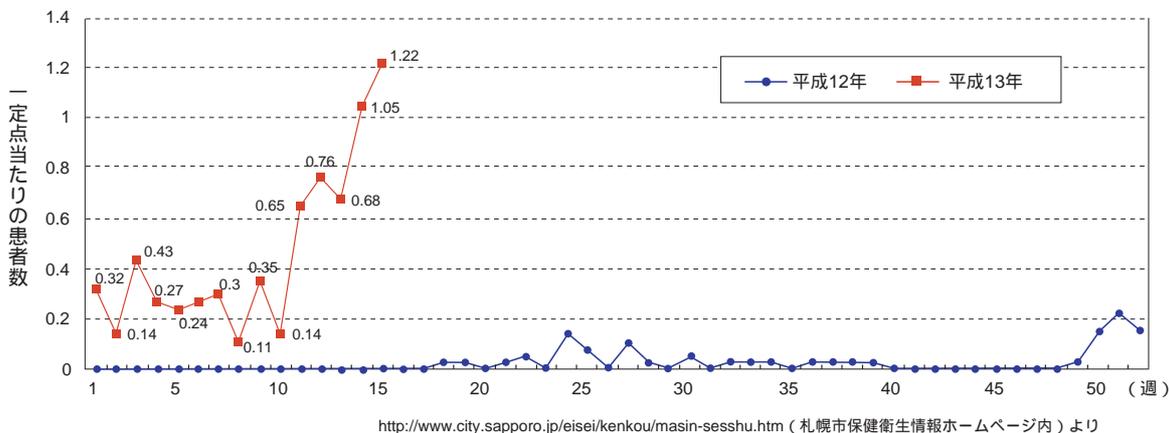
千屋誠造 永安聖二 刈谷陽子 宮地洋雄 小松照子 山脇忠幸 上岡英和

## 札幌市における麻疹流行とその対策

札幌市保健衛生部地域保健課が4月23日発表したところによると、札幌市では昨年暮れから麻疹の散発的発生がみられていたが、3月中旬以降報告数が増加し、流行の徴候が見受けられることから、予防接種を広く呼びかける緊急予防策を講じ、関係各位への協力を依頼した。また、麻疹及び予防接種に関する相談窓口を各区保健福祉部地域保健課に開設し、市内保育園、幼稚園等を通じ、まだ麻疹の予防接種を受けていない子供の保護者に対し、早期予防接種の呼びかけを行うこととしている。

国立感染症研究所感染症情報センター

札幌市の一定点当たりの麻疹患者数（平成13年第1週～15週）





## 海外感染症情報

### 南アフリカのコレラ流行—更新

WHO/CSR 2001年4月17日

Kwazulu-Natal保健省は2000年8月中旬から始まった流行で4月16日までに、86,107人の患者と181人の死者を報告した。

### 2001年メッカ巡礼(Haj)に関連した髄膜炎菌感染症—更新2

Eurosurveillance weekly 2001年4月19日

2000年3月のhajの後で、W135:2a:P1.2,5型髄膜炎菌の感染例が世界中の巡礼者および接触者に発生した。WHOは報告された症例のサーベイランスを行った。また、European Commission's DG SANCOは6カ国(フランス、ドイツ、アイルランド、オランダ、スペイン、英国)で迅速報告システムの使用を開始した。

今年のhajは3月4～8日であった。昨年と同じ型の髄膜炎菌の症例がヨーロッパ連合(EU)の迅速報告システムで報告されている。

2001年2月24日から3月30日までにW135型による症例が英国で11例、フランスで4例、ドイツで2例、オランダで1例が報告された。

#### フランス

Hajとの関連が不明な6カ月の乳児の血液からW135:NT:P1.6が分離された。遺伝子型検査(MLDF, PFGE)ではET-37 complexを検出しなかった。

Hajと関連がない18歳の少年から血清型W135:2a:P1.2,5が分離された。MLDF分析ではET-37 complexが検出された。

義理の母親が2001年hajの時期にメッカを訪れたことのある36歳女性の血液から、W135:2a:P1.2,5が分離された。MLDF分析ではET-37 complexが検出された。

76歳男性が数人の巡礼者との接触後に発熱と扁桃炎を起こし、回復したが、その血液と咽頭からは同じ血清型と血清亜型の菌が分離された。遺伝子型検査(MLDF, PFGE)では、ET-37 complexが検出された。

#### ドイツ

尺骨の関節炎を伴う敗血症を起こした6歳のイスラム教徒の少女から、W135:2a:P1.2,5が分離された。

また、関節炎を伴う敗血症を起こした57歳のドイツ人の女性患者の膝関節からも、同じ株が分離された。両方のケースとも、hajとは関係がなかったことが確認されている。

#### オランダ

1999年にメッカへの渡航歴がある女性患者から、W135:2a:P1.2,5が報告された。2001年のhajから戻ってきた義理の息子と空港で接触があった。親子ともに予防接種歴が不明であった。分離株の詳細な分析結果はまだ出ていない。

## 英国

2001年3月30日までに、hajに関連したW135:2a:P1.2,5型髄膜炎菌による11人の症例が報告された。このうちの数症例は、2000年hajの関連株とほぼ同一株によるものであることが示されている。症例のうち6人が巡礼者、4人が巡礼者の家族、1人が巡礼者の家族外の者であった。4例が死亡していた。

Hajと関連のない他の症例が、W135:2a:P1.2,5の1例と同じ時期に英国で報告された。その1例は1歳の少女で、両親が2000年秋にサウジアラビアのUmrā(小巡礼)に行っていた。同じ株は、両親が2000年hajを訪れた3歳の少年の膝の穿刺液からも得られた。

もし、以前にW135型による流行がサウジアラビアに起こっていなかったのであれば、2000年のhaj後にW135型による髄膜炎が定着した可能性がある。Hajとの関連がまだ未確認で死亡した28歳の症例と4カ月の乳児の2例からW135:2a:P1.2,5が見つかるが、現在、詳細についてはわかっていない。



## 感染症の話

### A型肝炎

A型肝炎はA型肝炎ウイルス(HAV)感染による疾患である。一過性の急性肝炎が主症状であり、治癒後に強い免疫が残される。HAVは糞便中に排泄され、経口感染がほとんどであるため、患者の発生は衛生環境に影響されやすい。A型肝炎は開発途上国に多い疾患であり、先進工業諸国では上下水道等の整備により激減した。しかしながら、HAV感染の少ない状態が長期間継続すると抗体陰性者が増加する。現在日本では50歳以下での抗体陽性者は極めて少ない。最近のA型肝炎の特徴として、罹患年齢の上昇による重症例が増加している。大規模な流行発生は見られないが、散发例はまだ多く、海外渡航者の感染例、施設内発生例、家族内感染例等がある。海外との人的交流、食料品の流通などを考えれば、A型肝炎の予防対策はますます重要になる。日本でも不活化ワクチンが認可されて医療現場で使われるようになった。

#### 疫学

HAVは全世界に分布している。衛生環境が劣悪な地域では乳幼児期の感染が主であり、こうした地域では肝炎発生率が低く、流行もない。上下水道などの整備により、経口感染性疾患は発生の様相に大きな変化が生じるが、A型肝炎も例外ではない。まず、都市部を中心に感染率が低下し、感受性者が蓄積されて流行が認められるようになる。1988年に中国上海市で発生した約30万例の大流行は好例である。生活環境がさらに整備されると大流行の発生が止まる。1973、1984、1994年の血清検体で、一般日本人の年齢別抗体保有状況が調べられた。調査間隔年齢に相当して抗体保有率曲線が高年齢層にシフトしており、日本では過去30年以上の期間、HAV感染が少ないことが明らかにされた〔病原微生物検出情報1997年Vol 18、特集「A型肝炎」(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)図4参照〕。A型肝炎の大規模な流行発生は日本では終焉したが、抗体保有率が非常に低下したために、施設内の集団発生や家族内感染例等が認められ、海外渡航者等の感染例も増加傾向にある。また、罹患年齢とA型肝炎の臨床経過には関連があり、高齢者では重症化しやすいことが問題となっている。A型肝炎には年次変動と季節変動がある。日本では冬から春先にかけての発生と地域集積性が特徴である。

最近の動向については、2000年4月発行の病原微生物検出情報、特集「急性ウイルス性肝炎」(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)を参照されたい。

#### 病原体

HAVはピコルナウイルス科のヘパトウイルス属に所属する。ウイルス粒子は直径27nmの裸の正20面体であり(図1)、ゲノムは5'末端にVPg蛋白、3'端にポリA鎖が結合した約7.5kbのプラス鎖RNAである(図2)。HAV粒子の構造と性状、ゲノムの構造と機能、粒子形成等は基本的には他のピコルナウイルスと共通であるが、成熟粒子にVP4が検出されないこと、VP1/2A接合部が切断されないまま粒子形成が進行するなどの特性がある。ピコルナウイルス科のウイルスはエンテロウイルス属などの4属に分けられていたが、これら4属のウイルスRNAとHAV RNAとの間の塩基配列

相同性が極めて低いために、ヘパトウイルス属が新設された。HAVの遺伝子型は7種類に分けられているが、血清型は1種類しかない。

HAVは培養細胞において増殖性であるが、培養細胞を用いた患者糞便検体からのウイルス分離には長期間かかる。また、継代培養により培養細胞に馴化した株でも、増殖速度は他のピコルナウイルスに比較して遅く、一般的に細胞障害効果( CPE )は示さない。特定の細胞にCPEを示す株もあるが、馴化の過程での遺伝子変異によるものである。生物学的に野生株は肝臓に強い親和性を持っているが、ほかの肝炎ウイルス同様、ウイルスの増殖により細胞を殺すことはない。肝炎は宿主免疫反応を介して起きる。

HAVは酸耐性であり、熱、乾燥などにも強い。エーテルなどの脂溶性物質、界面活性剤、蛋白分解酵素などに耐性であるが、高圧滅菌、UV照射、ホルマリン処理、塩素剤処理などで失活する。また、高度精製HAVは微量の水銀イオンなどにより失活し、抗原活性も失われる。

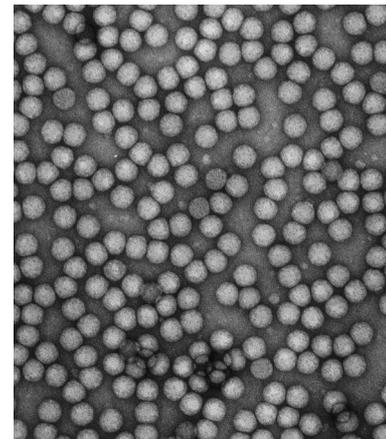


図1. 精製A型肝炎ウイルス( HAV )の電子顕微鏡像  
HAVは直径27nmの正二十面体構造を持つRNAウイルスで、ピコルナウイルス科に属する。

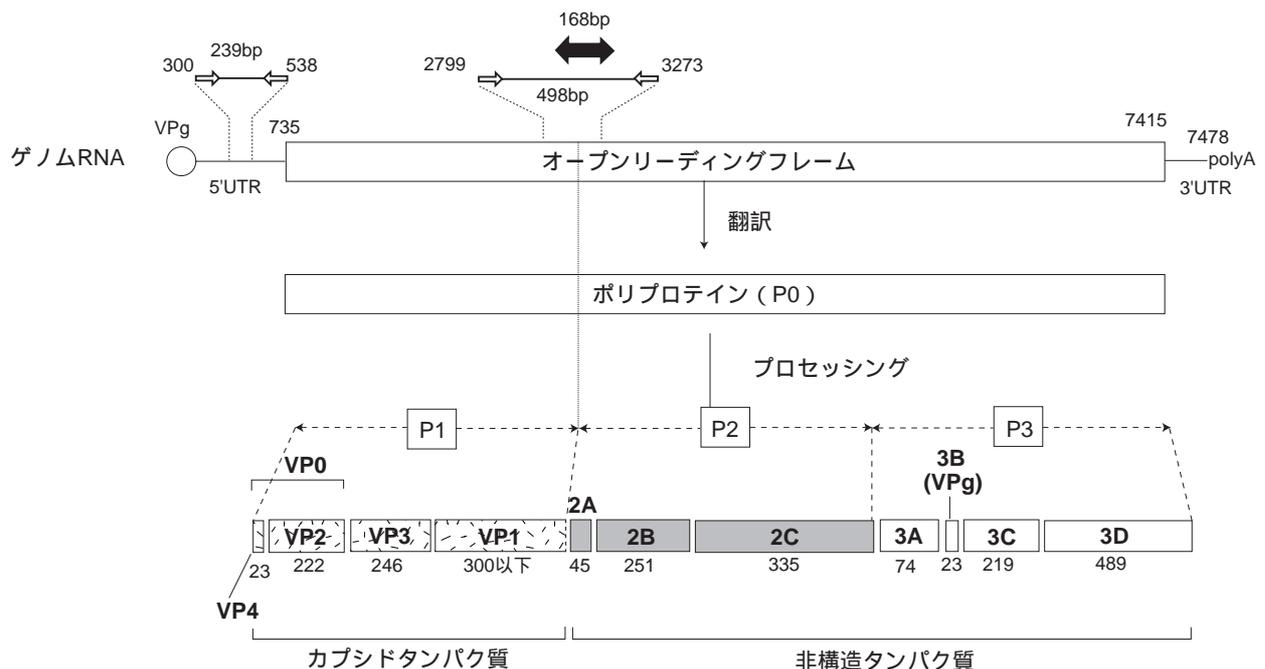


図2. HAVの遺伝子構造と翻訳蛋白

- ⇔: 著者等が行っているRT-PCRによる遺伝子増幅部位
- ⇔⇔: 遺伝子型の解析に用いられている部位

### 臨床症状

HAVは経口感染性である。潜伏期間は2～6週であり、発熱、倦怠感等に続いて血清トランスアミナーゼ(ALTまたはGPT、ASTまたはGOT)が上昇する。食思不振、嘔吐等の消化器症状を伴うが、典型的な症例では黄疸、肝腫脹、黒色尿、灰白色便等を認める。まれに劇症化し死亡する例を除き、1～2カ月の経過の後に回復する。トランスアミナーゼの正常化に3～6カ月を要する例や、正常化後に再上昇する例もあるが、慢性化せず、予後は良好である。

他の急性ウイルス肝炎と比較して、A型肝炎の臨床症状での特徴は、発熱、頭痛、筋肉痛、腹痛など、いわゆる肝炎症状が強いことがあげられる。しかし、臨床症状や肝障害の改善は早い。肝機能検査では、AST、ALT、ALP、LDHなどの各値が他の急性肝炎より高い傾向があるが、異常値が正常化するまでの期間は最も短い。ほかの血清検査ではIgMの増加、チモール混濁反応(TTT値)で判定される膠質反応の上昇が特徴的である。成人は小児に比べ臨床症状も肝障害の程度も強い傾向がある。肝外合併症としては急性腎不全、貧血、心筋障害などが知られている。

### 病原診断

A型肝炎の診断には血中のIgM型HAV抗体を確認すれば良い。固相化抗ヒトIgM抗体に患者血清を反応させ、さらにHAV抗原、標識HAV抗体を順次反応させるELISAやRIA法を用いた簡便なIgM捕捉キットが市販されている。IgM型抗体は発症から約1カ月後にピークに達し、3～6カ月後には陰性となる。重症例ほどIgM型抗体価は高く、発症6カ月以降にも検出される例がある。また、治癒が遷延化する例ではIgM型抗体持続期間も長い。

IgG型とIgA型抗体はA型肝炎の診断には無用であるが、IgA型抗体は感染後1～2年間、IgG型抗体はさらに長期間持続するので、特殊な血清疫学調査に有用である。一般的な血清疫学調査、γグロブリン(ISG)やワクチン接種対象者の選択などには、全クラスのHAV抗体を測定する競合抑制ELISA等が用いられる。なお、検出されるHAV抗体はウイルス粒子と結合する防御抗体であり、過去の感染またはワクチン免疫を意味する。

細胞培養によるウイルス分離には長期間が必要なため、診断目的には適さない。発症ごく初期の患者糞便中には、ELISAで測定可能な量(1ml当たり $10^8$ 粒子以上)のHAVが含まれることもある。ウイルスRNAを検出するRT-PCR法では、微量のHAVの検出が可能である。発症後2週間以内の糞便検体や血液中のウイルスRNAを抽出して、RT-PCR法でcDNAを増幅して遺伝子解析を行えば、感染経路の推定などに役立つ。

### 治療・予防

原則として急性期には入院し、安静臥床する。入院中は血液検査等で重症化、劇症化、肝外症状の有無を観察して、症状に応じた治療法がとられる。

予防としては、手洗いの励行などの一般的予防法に加え、ISG(抗体価の問題はあるが)やワクチンを用いた積極的予防法が推奨されている。ただし、ISGによる予防効果は数カ月以内である。したがって、ISGは患者家族や、患者と同一施設内でHAV感染の可能性の高い場合に緊急的に用いるのが適当である。

ワクチンとしては、培養細胞馴化株を精製してホルマリン処理した不活化ワクチンが世界的に使用されている。日本で開発されたワクチンは、アジュバントやチメロサルなどを含まない凍結乾燥品である。0、1、6カ月の3回の皮下または筋肉内接種を受ければ、抗体獲得率はほぼ100%であり、防御効果は少なくとも数年以上続く。

#### 発生動向調査について

急性ウイルス肝炎は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準については、感染症週報1999年第49週:通巻第1巻 第36号、感染症の話「急性肝炎」を参照のこと。

( 国立感染症研究所ウイルス製剤部 戸塚敦子 )



## 読者のコーナー

Q: 最近国内でもマラリア予防薬が認可になったと聞きましたが、本当でしょうか? 旅行者が相談に来たら、どのように処方すればよいのでしょうか?(東京都開業医Nさん)

### マラリアの予防薬について

マラリアの治療薬および予防薬として一世を風靡したクロロキンは、熱帯熱マラリアでの耐性が進んだことから予防薬としての価値も低下しており、それと入れ代わりメフロキンが予防薬として主役の座を占めるようになりました。

マラリア予防薬としては今まで国内で認可されているものはなく、一般の細菌感染症の治療薬として認可されているドキシサイクリンがマラリア予防薬としても優れていますが、国内での正式な処方としては不可能であり、そのような状況の改善が望まれてきました。

このような状況下で画期的なことですが、4月4日付けでメフロキン(商品名メファキン)がマラリアの治療のみならず、予防にも認可となりました。しかし、治療薬としての保険収載やその他のことで、実際に市場に出回るのには半年程度はかかると予想されます。もちろん、予防薬としては全額自費払いとなります。

メフロキンが市販されるようになったら、旅行目的地でのマラリア特に熱帯熱マラリアの流行状況、旅行者の行動や宿泊場所、などからマラリア罹患リスクの評価を行い、必要な場合には処方することになります。しかし、副作用もないとは言えず、必要な場合にのみ処方することが大事です。結局、マラリア罹患リスクの評価と副作用のとらえ方に関わってきます。これにはある程度の専門性が必要となります。欧米ではトラベルクリニックが普及し、旅行医学の専門家が多く実地で活躍していますが、我が国ではその点立ち遅れています。我が国でもメフロキンの認可を機会に、相談できる専門的機関のリストアップ、適切な判断をするためのガイドラインの作製、などが望まれるところです。

(国立感染症研究所感染症情報センター)

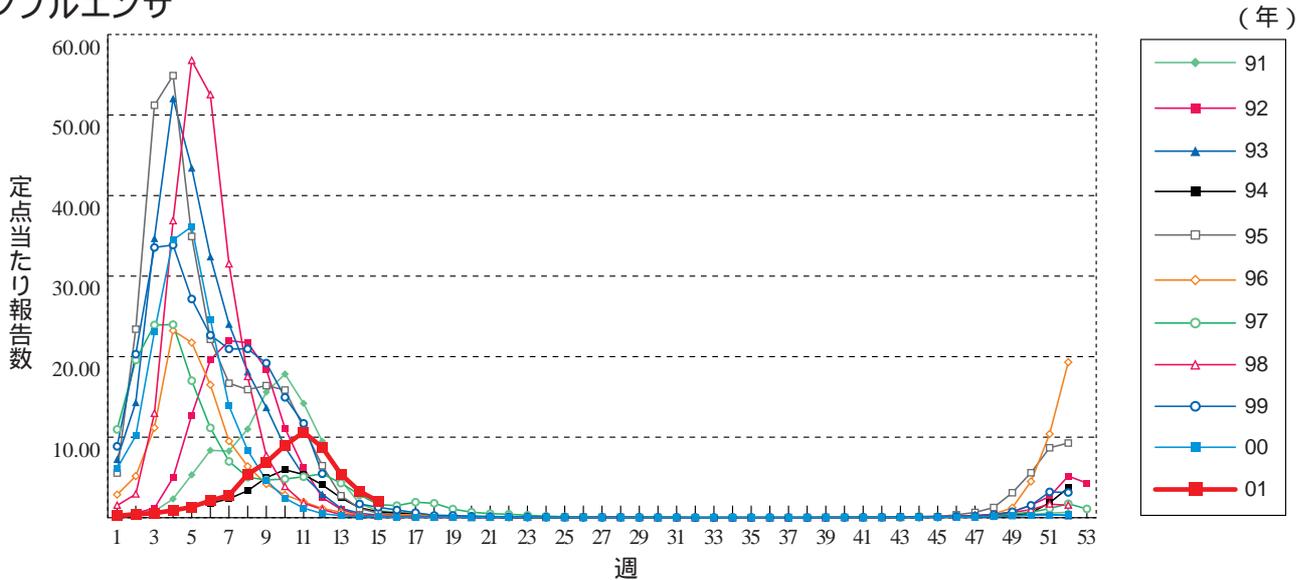
\*\*\*\*\*

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

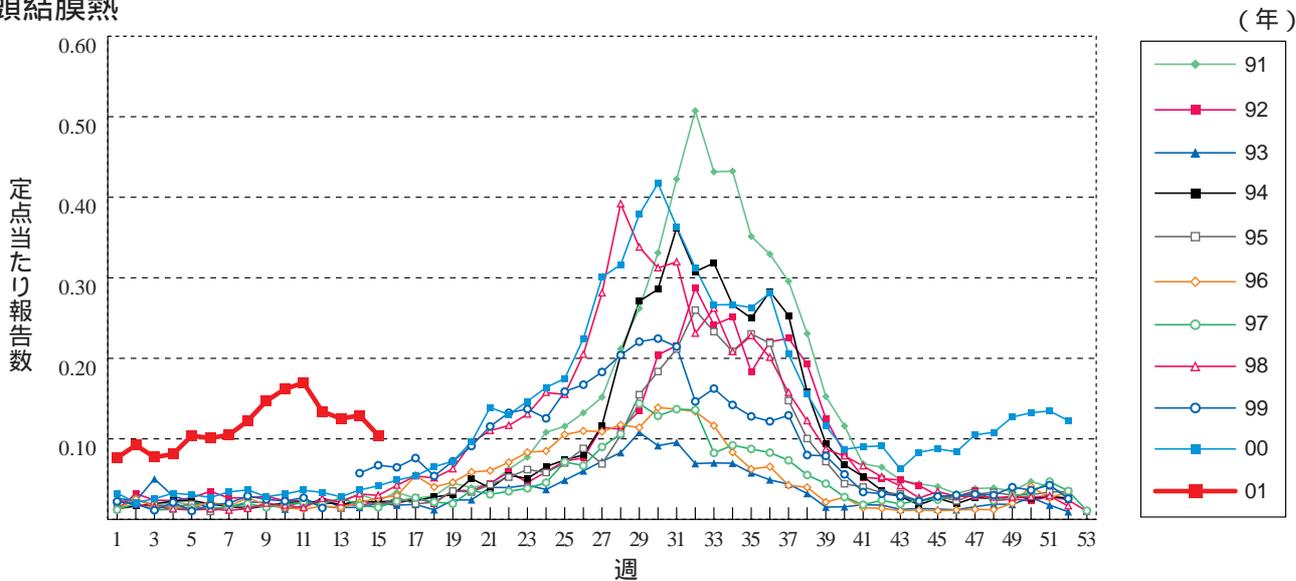
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(15週)**

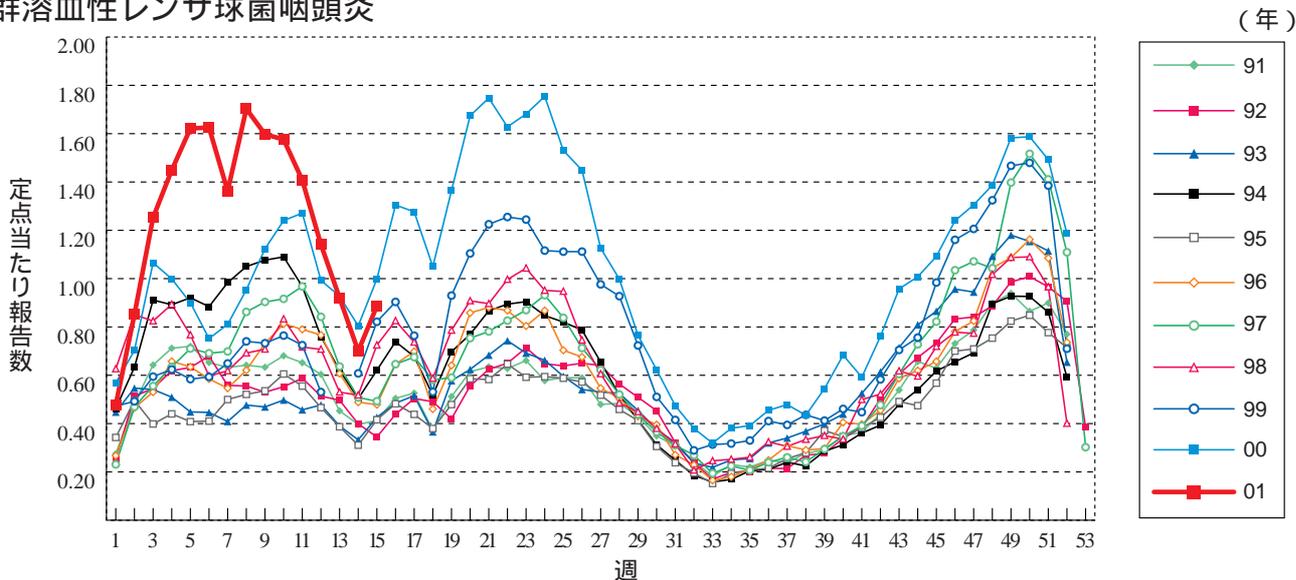
**インフルエンザ**



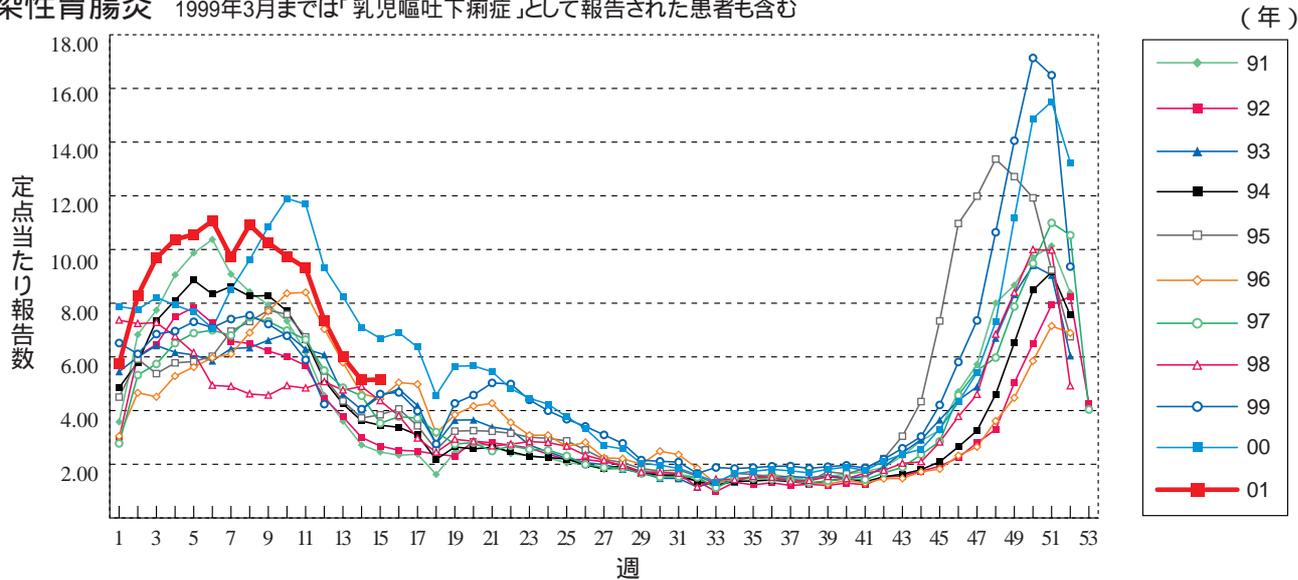
**咽頭結膜熱**



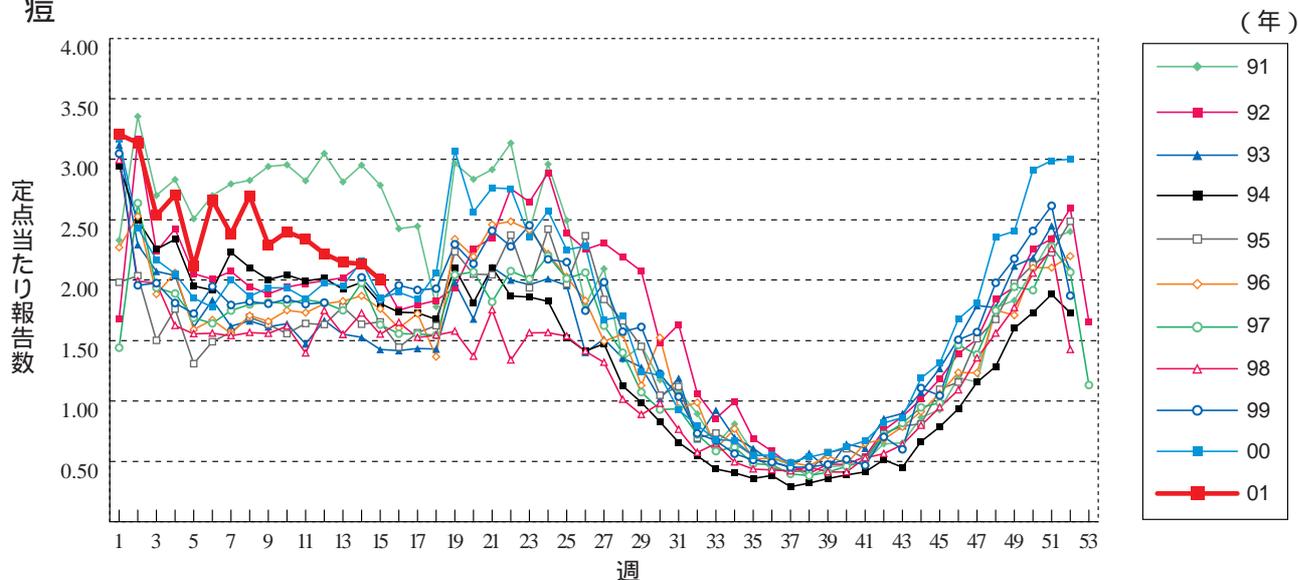
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



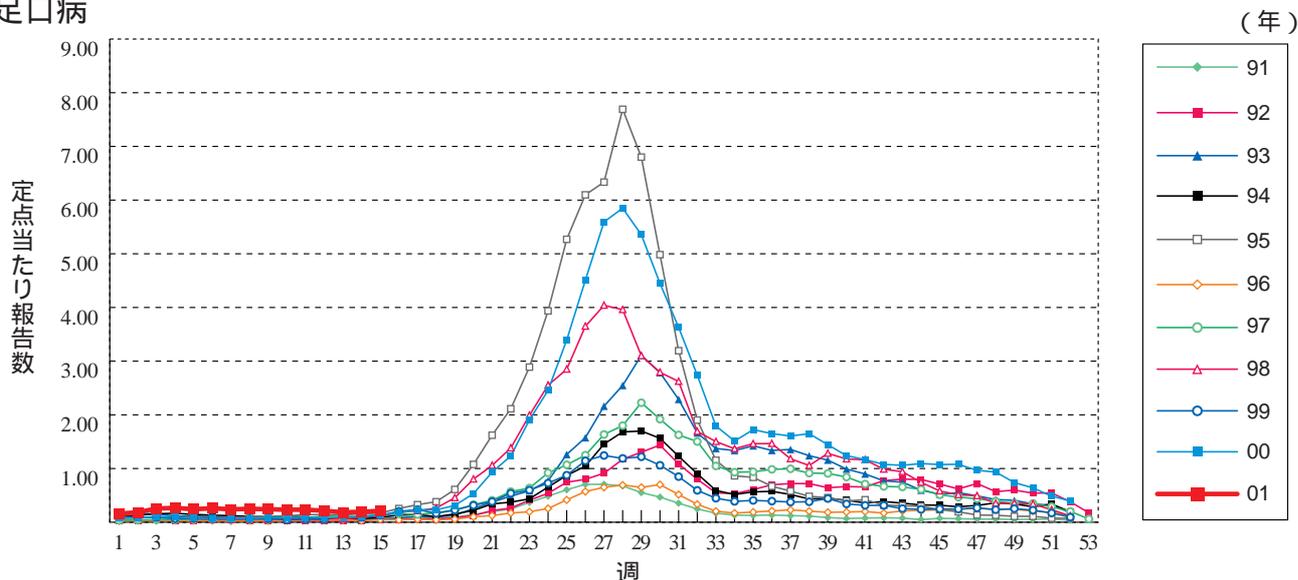
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



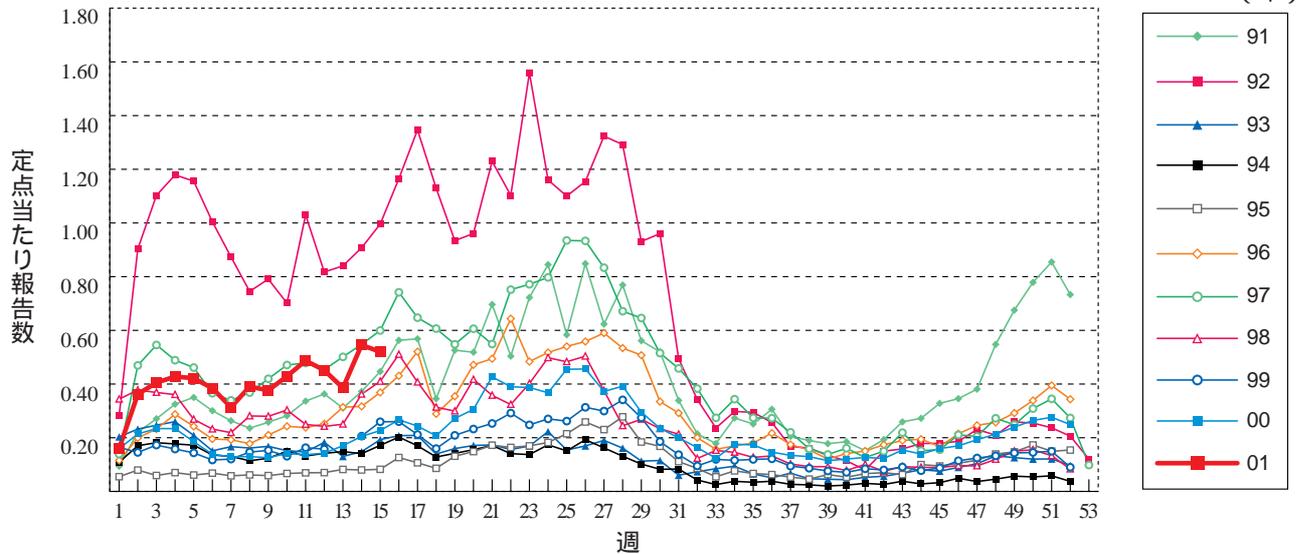
**水痘**



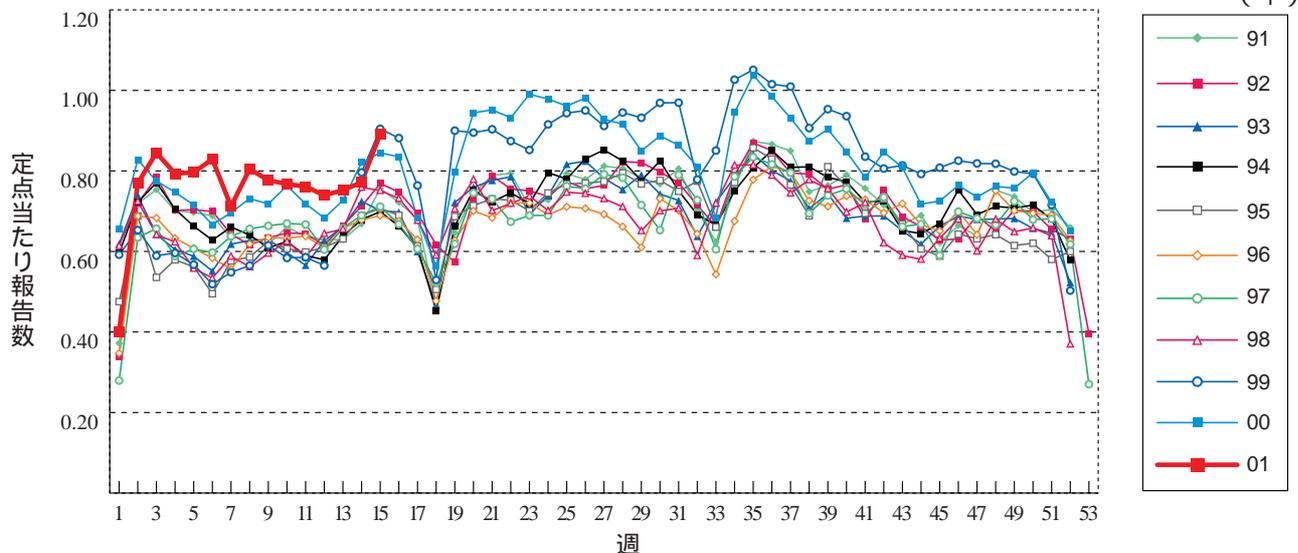
**手足口病**



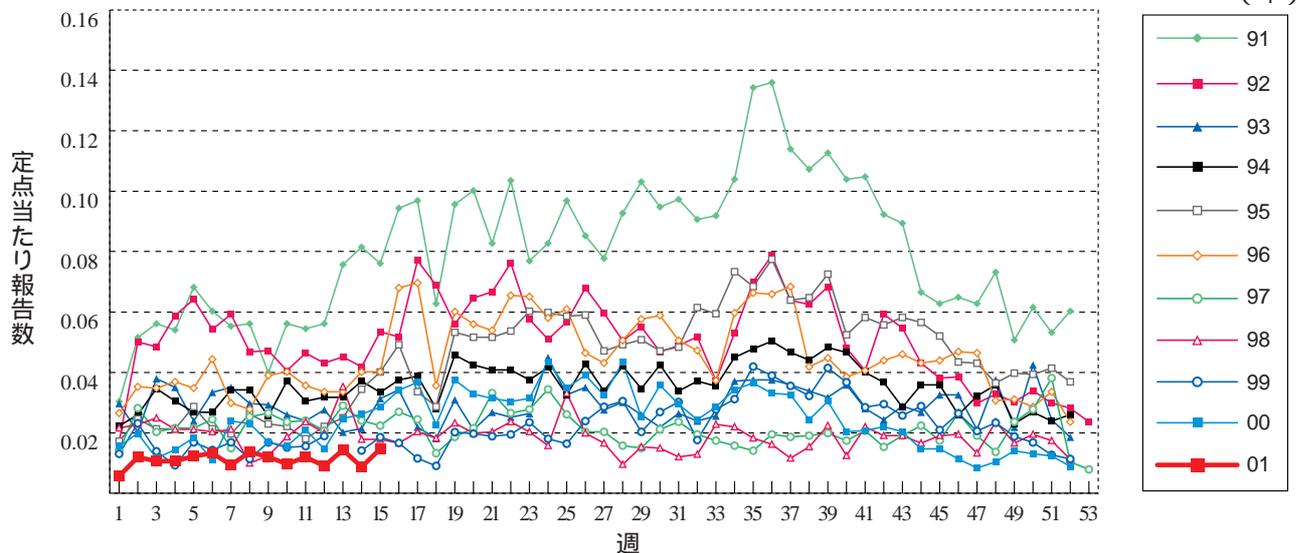
伝染性紅斑



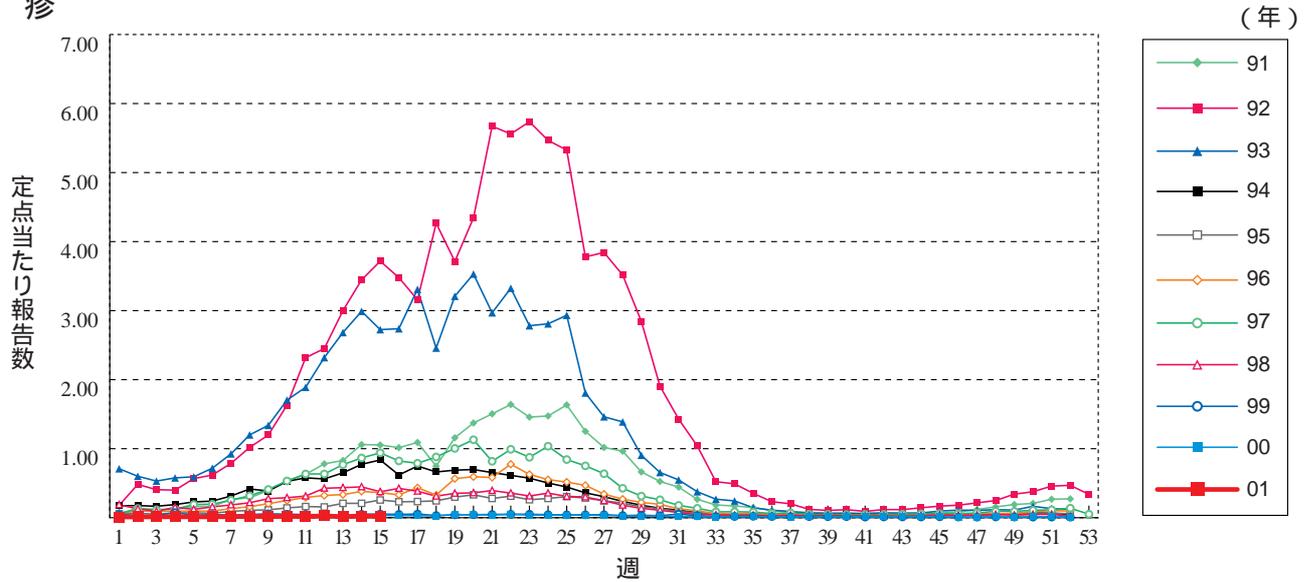
突発性発疹



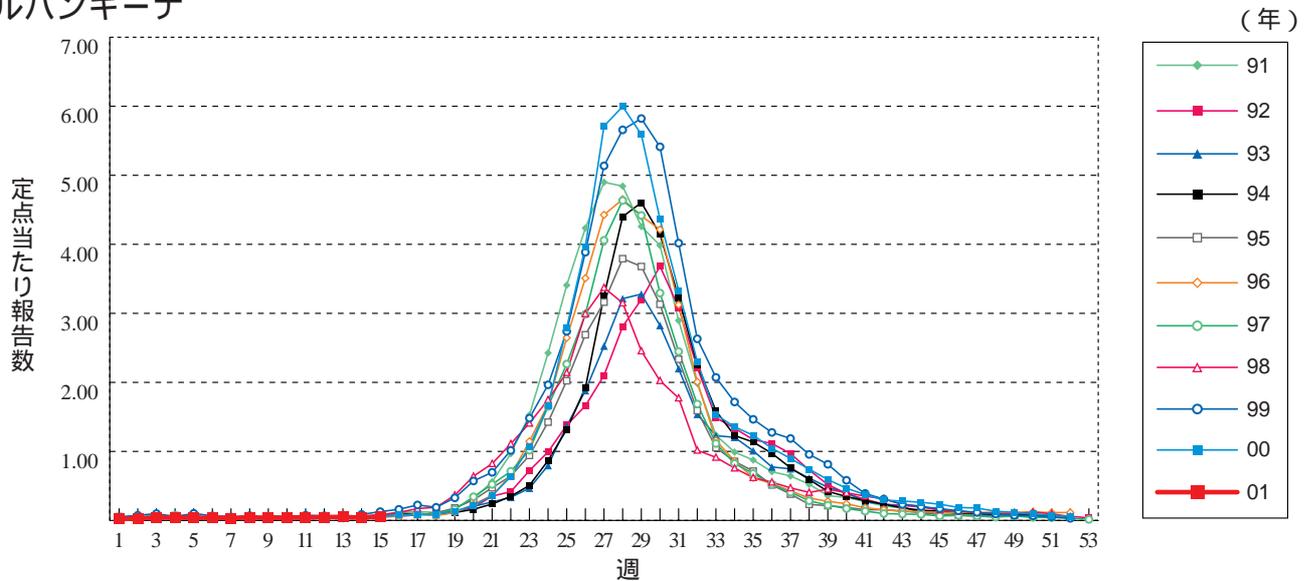
百日咳



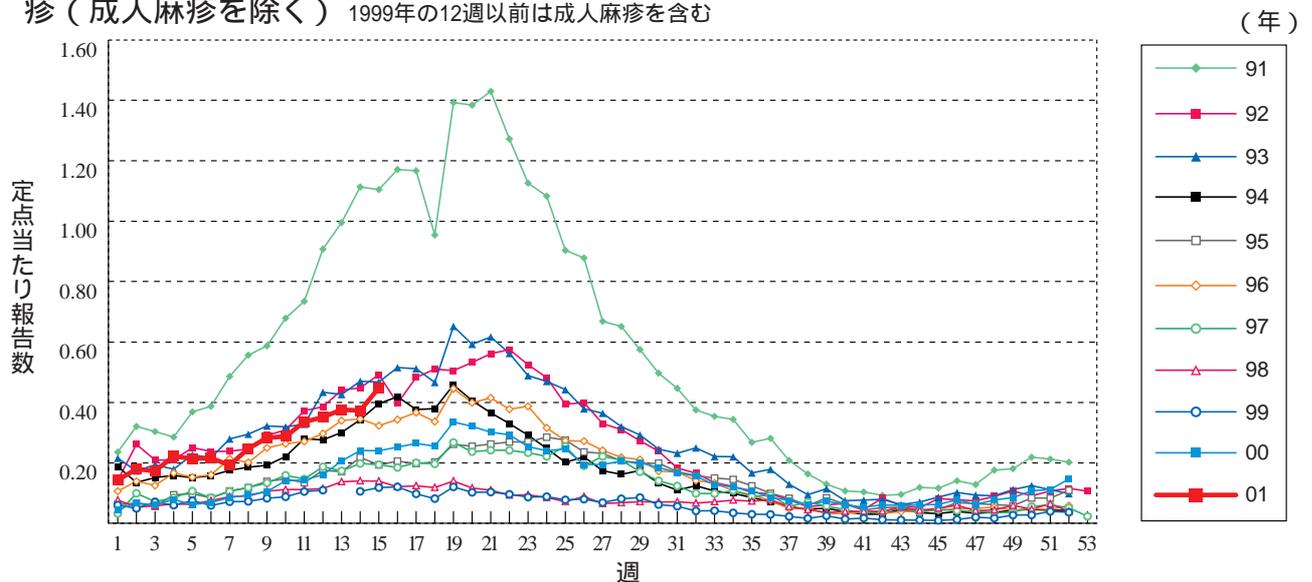
風 疹



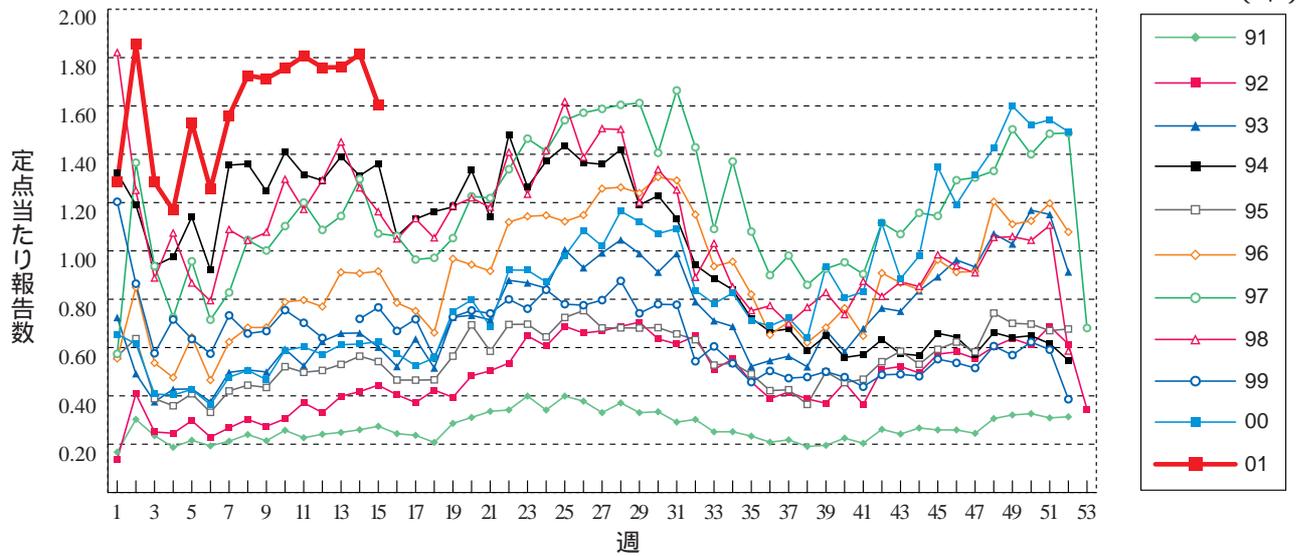
ヘルパンギーナ



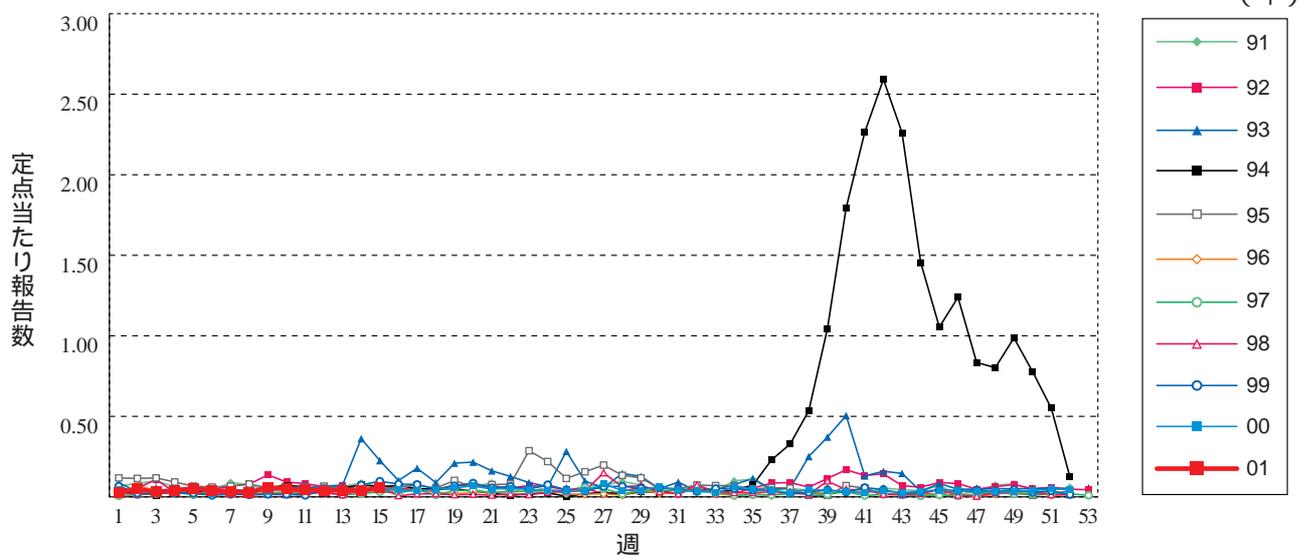
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



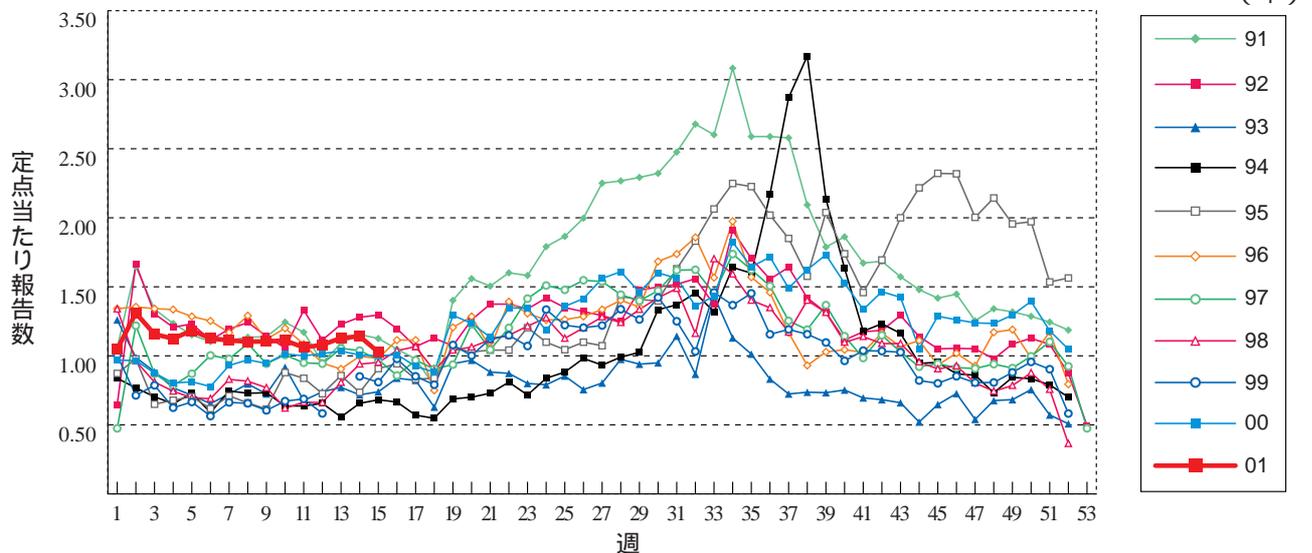
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

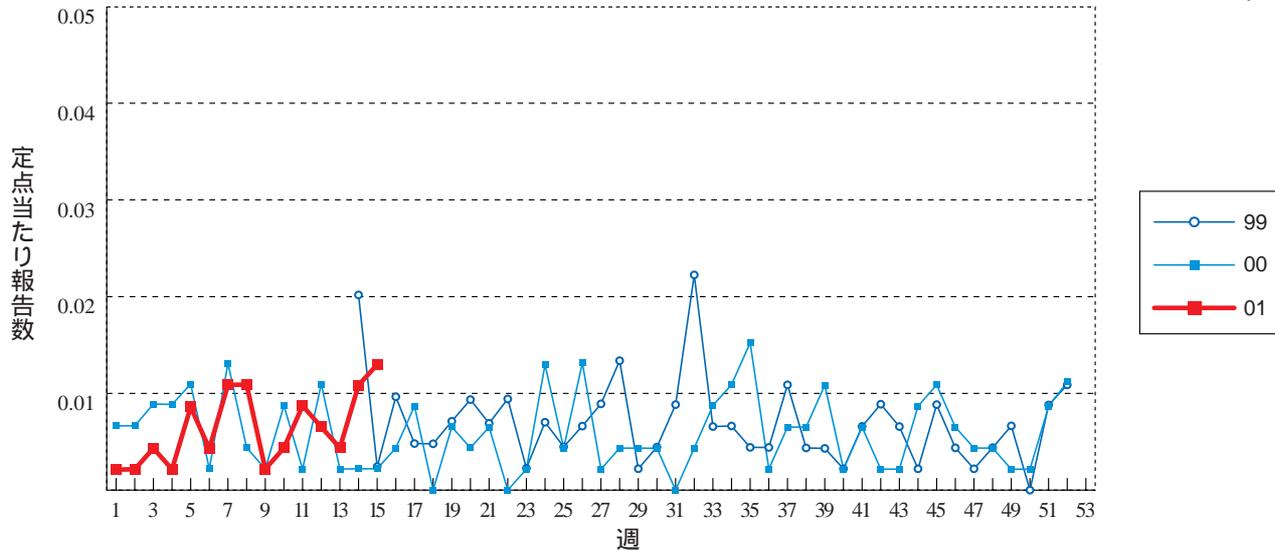


流行性角結膜炎



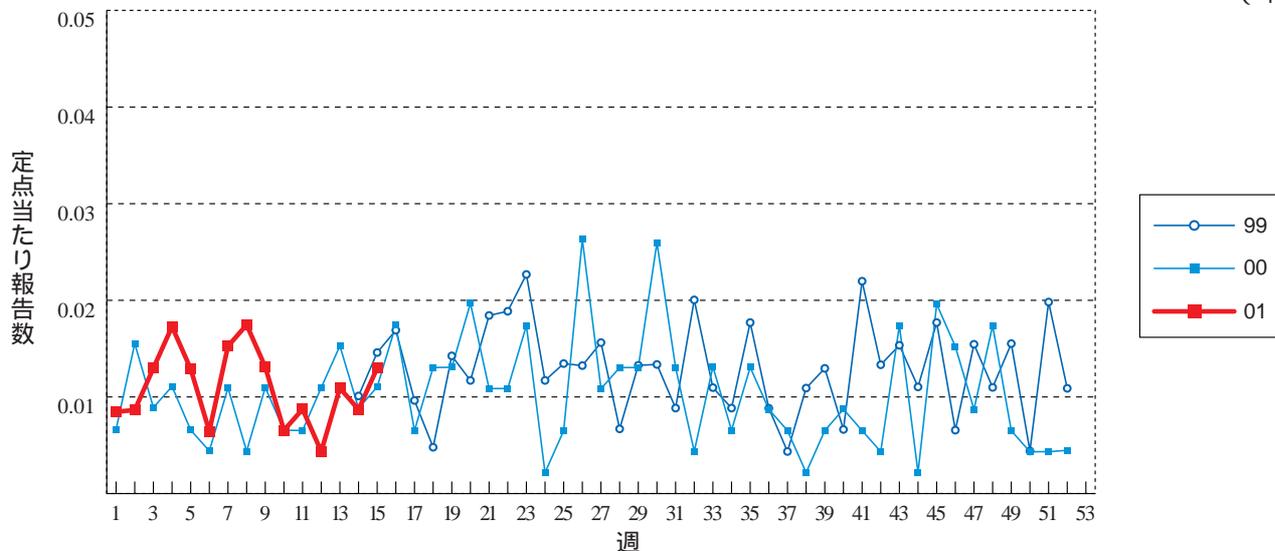
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



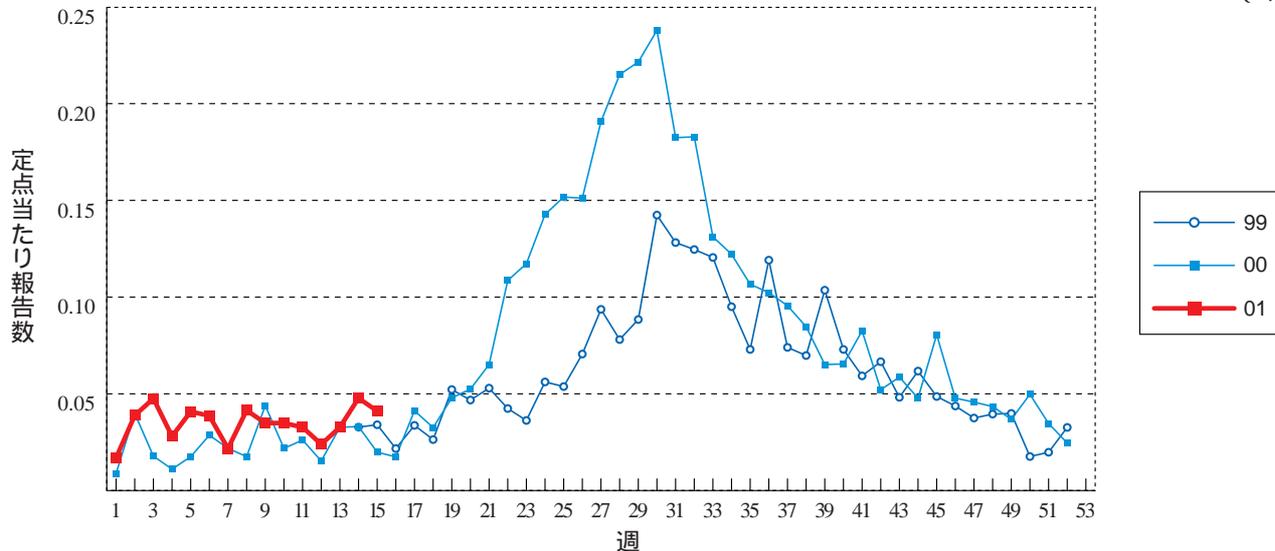
細菌性髄膜炎

(年)

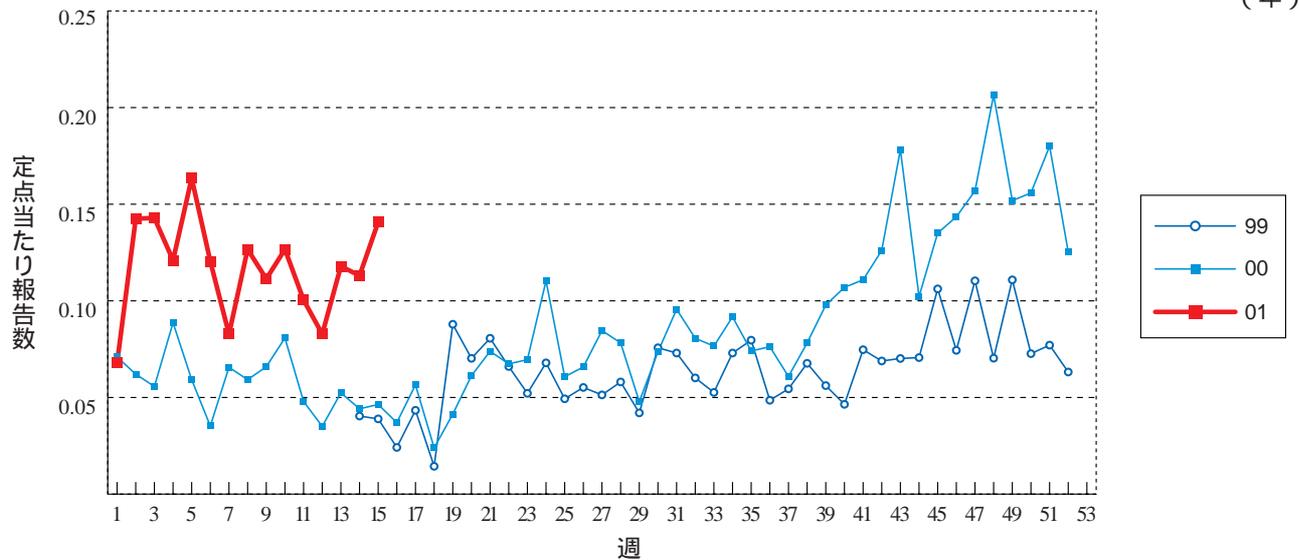


無菌性髄膜炎

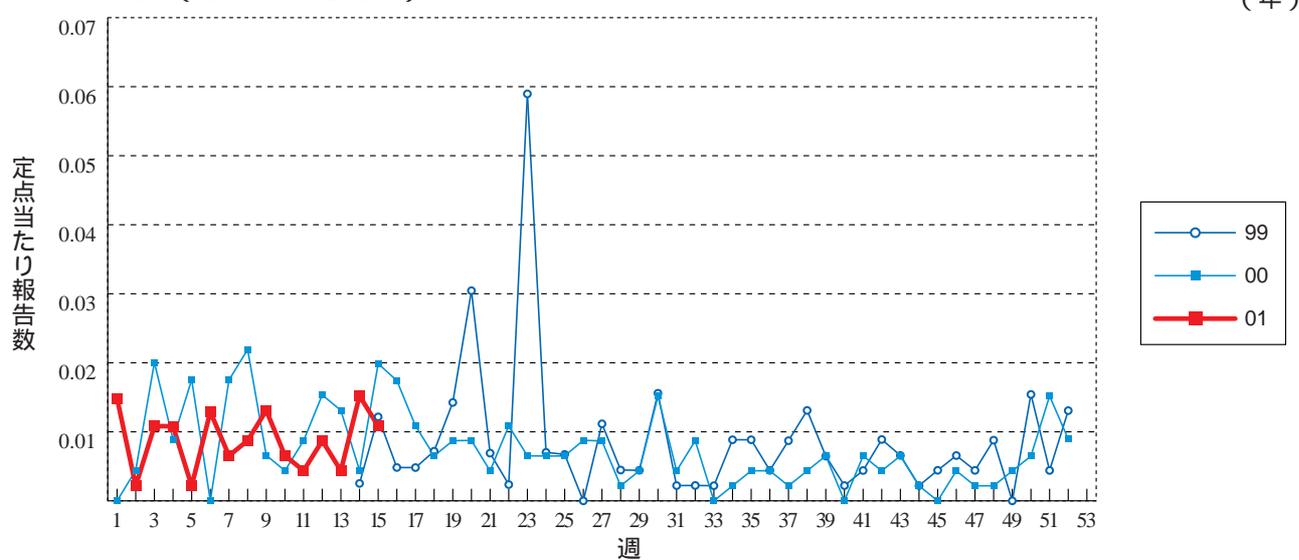
(年)



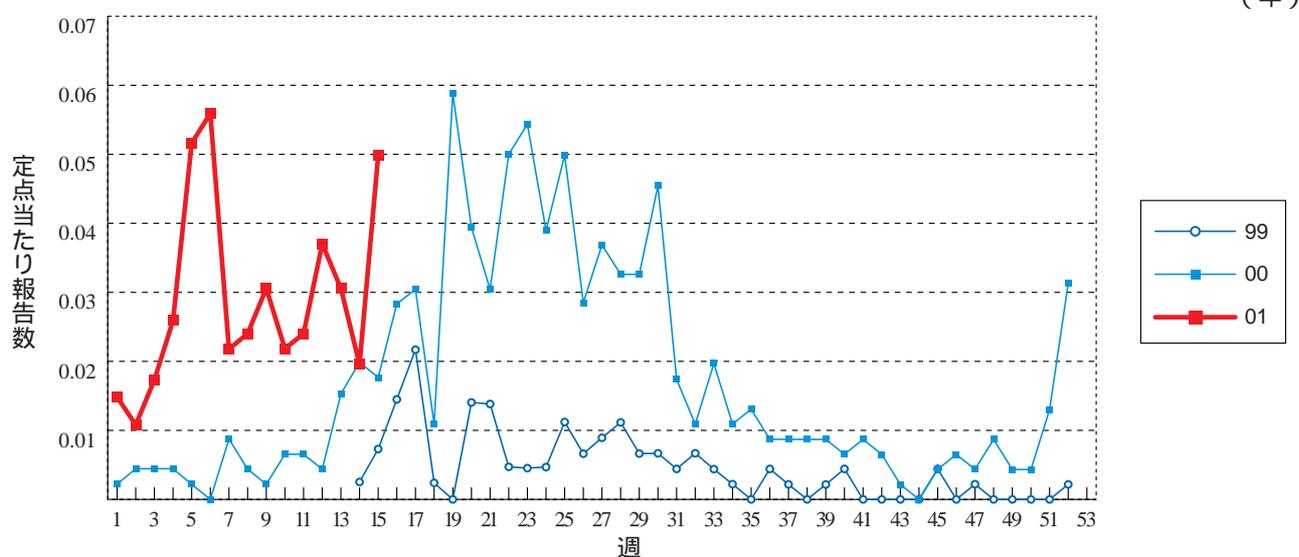
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹

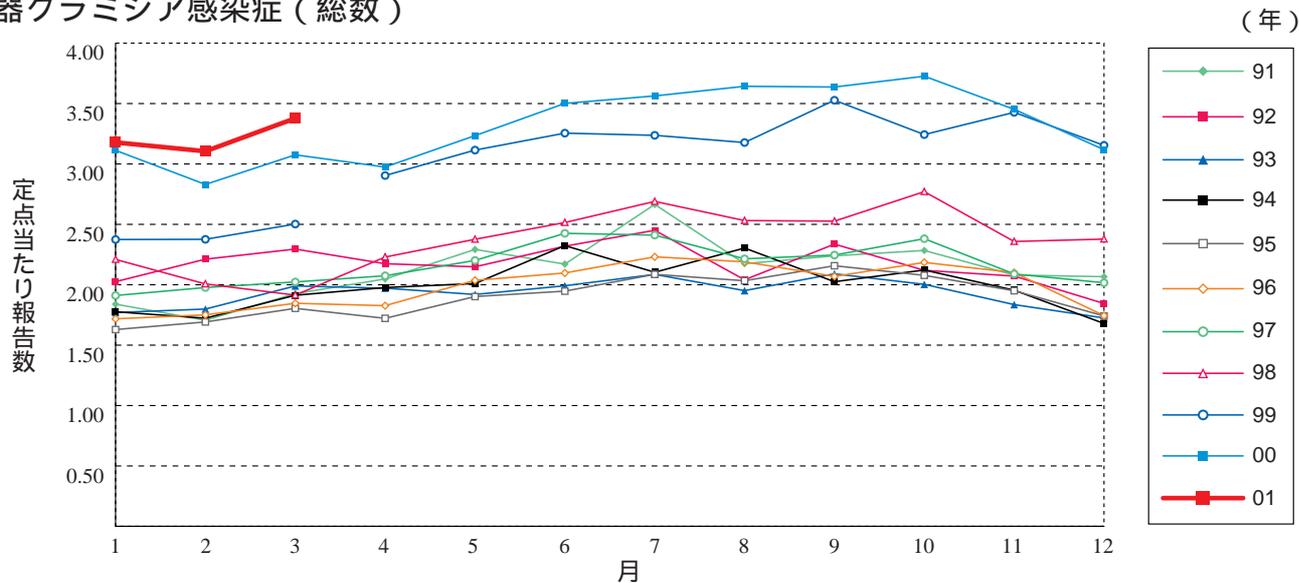




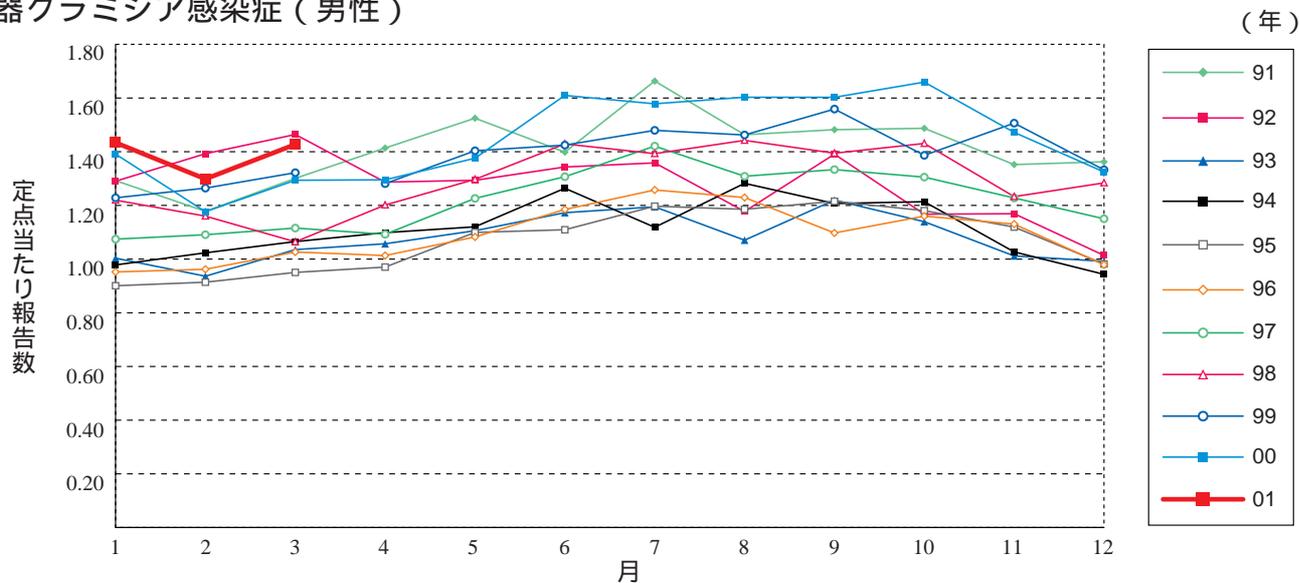
### グラフ総覧(3月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

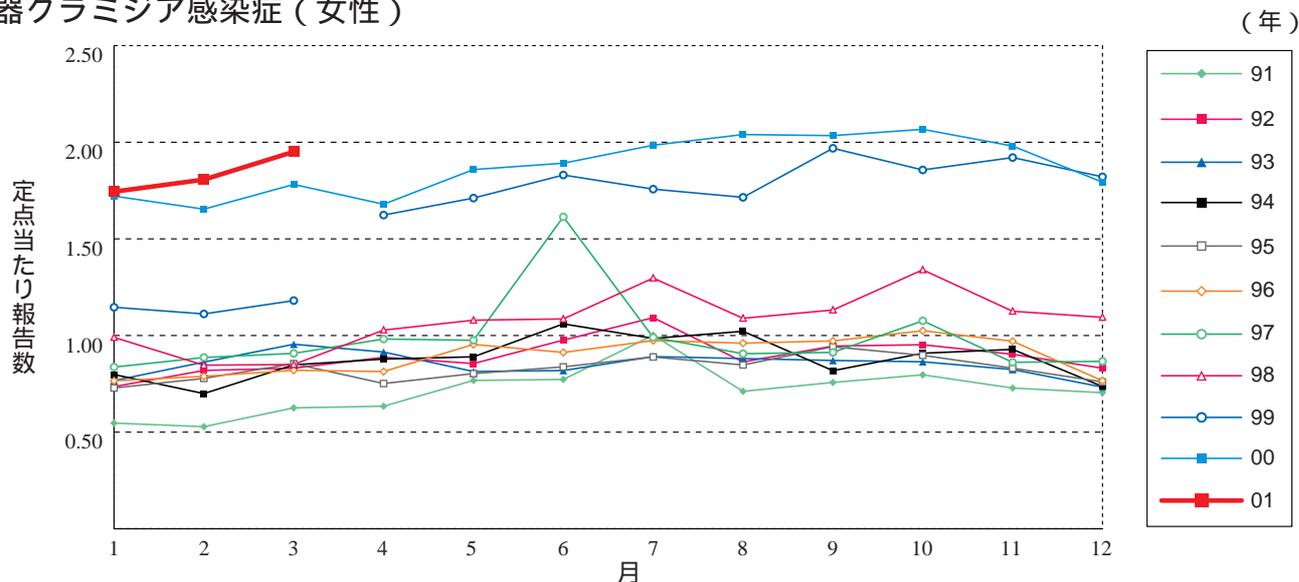
#### 性器クラミジア感染症(総数)



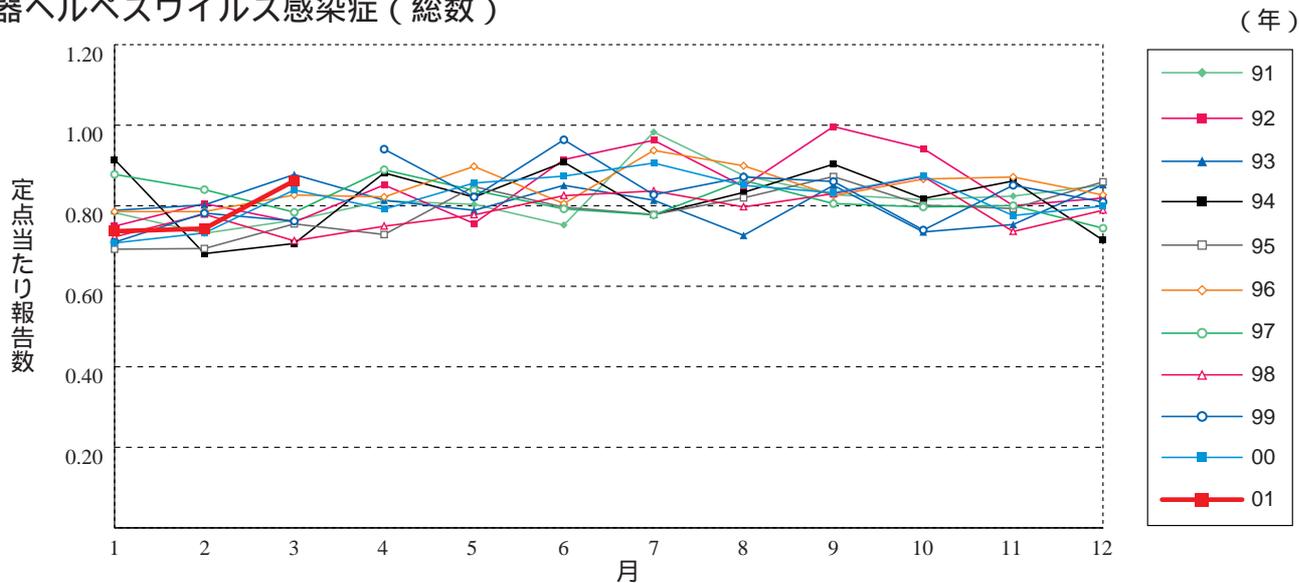
#### 性器クラミジア感染症(男性)



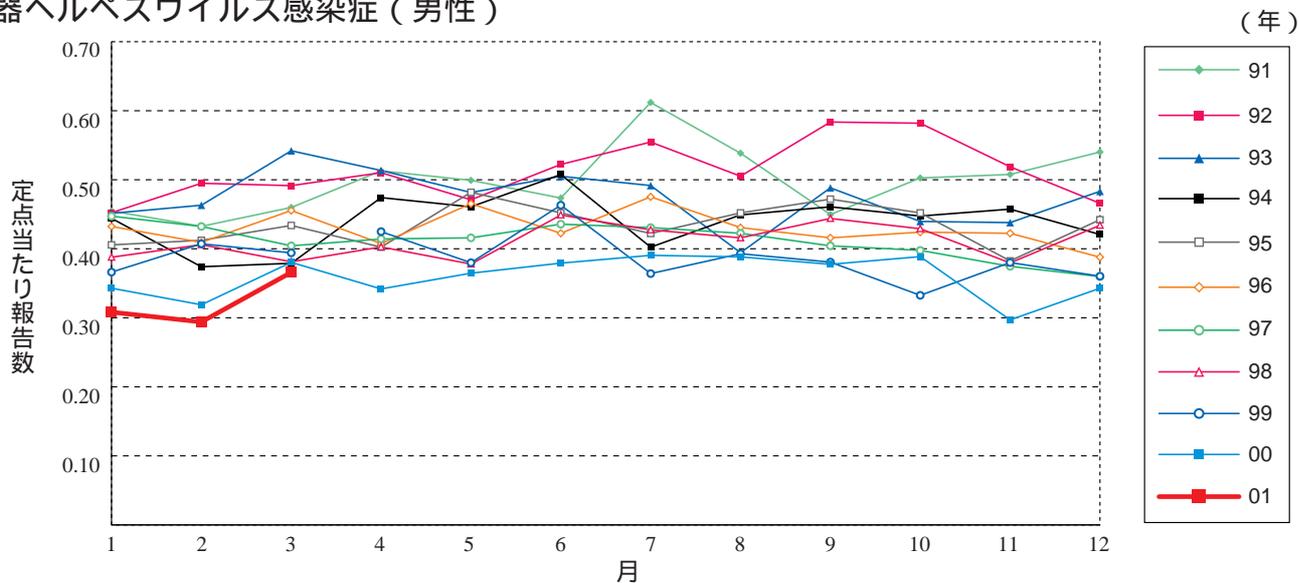
#### 性器クラミジア感染症(女性)



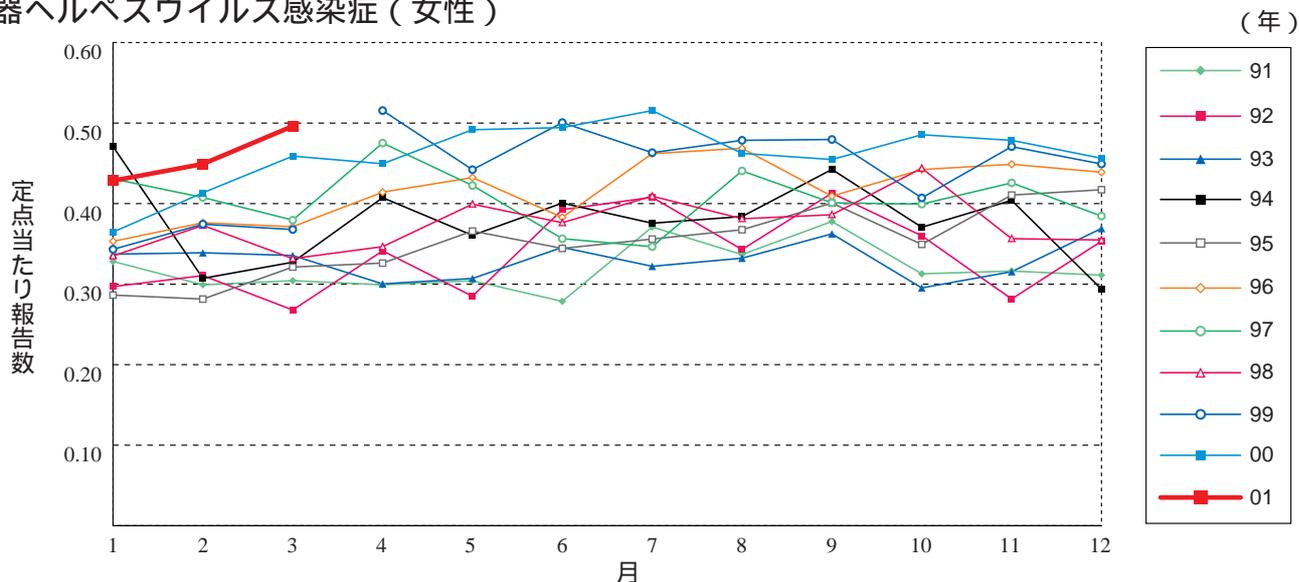
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



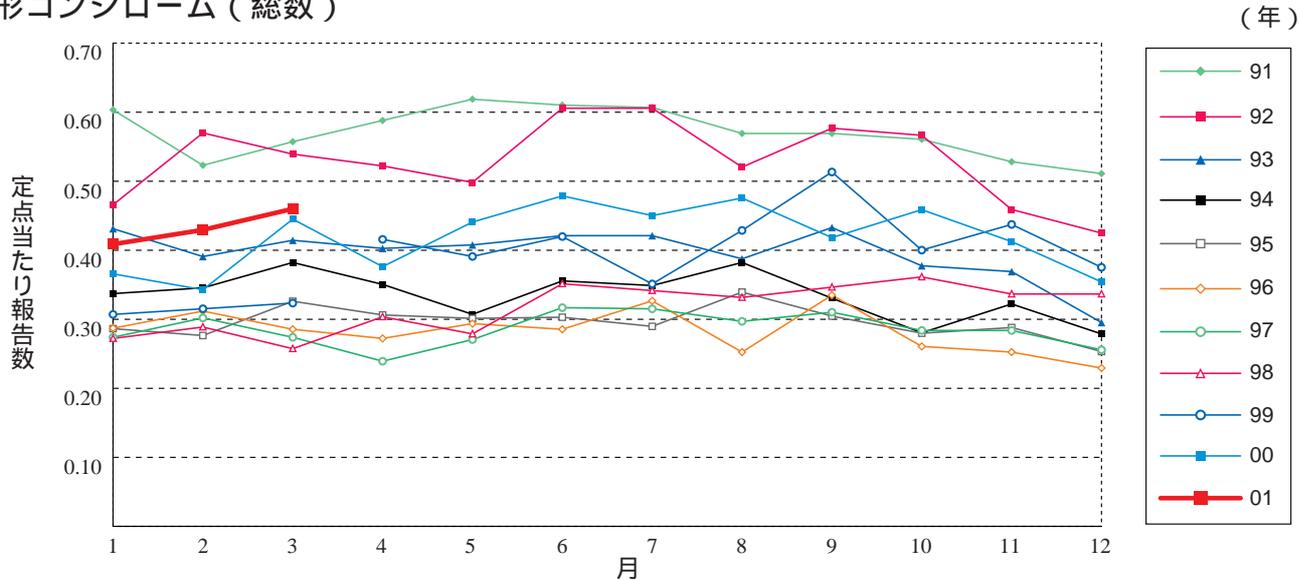
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



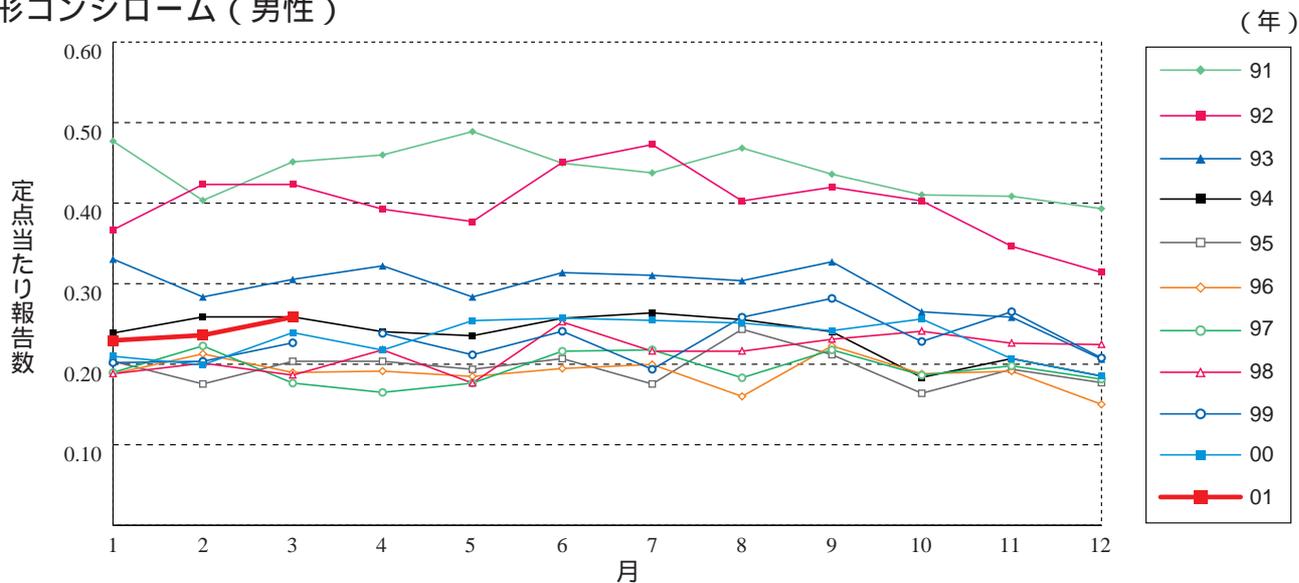
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



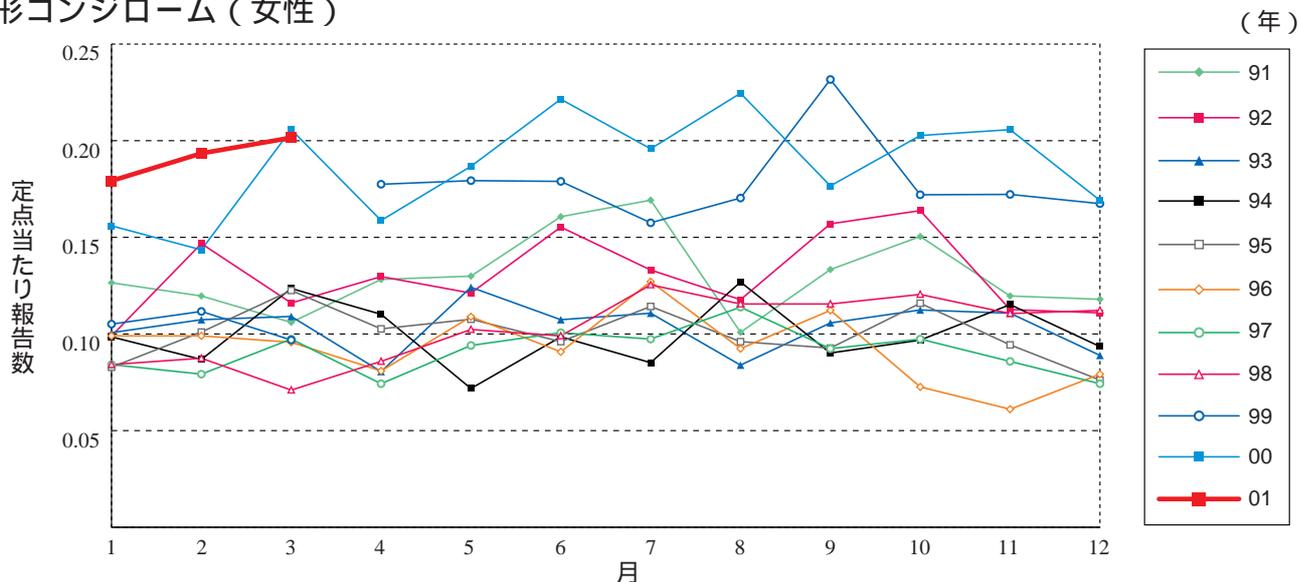
尖形コンジローム (総数)



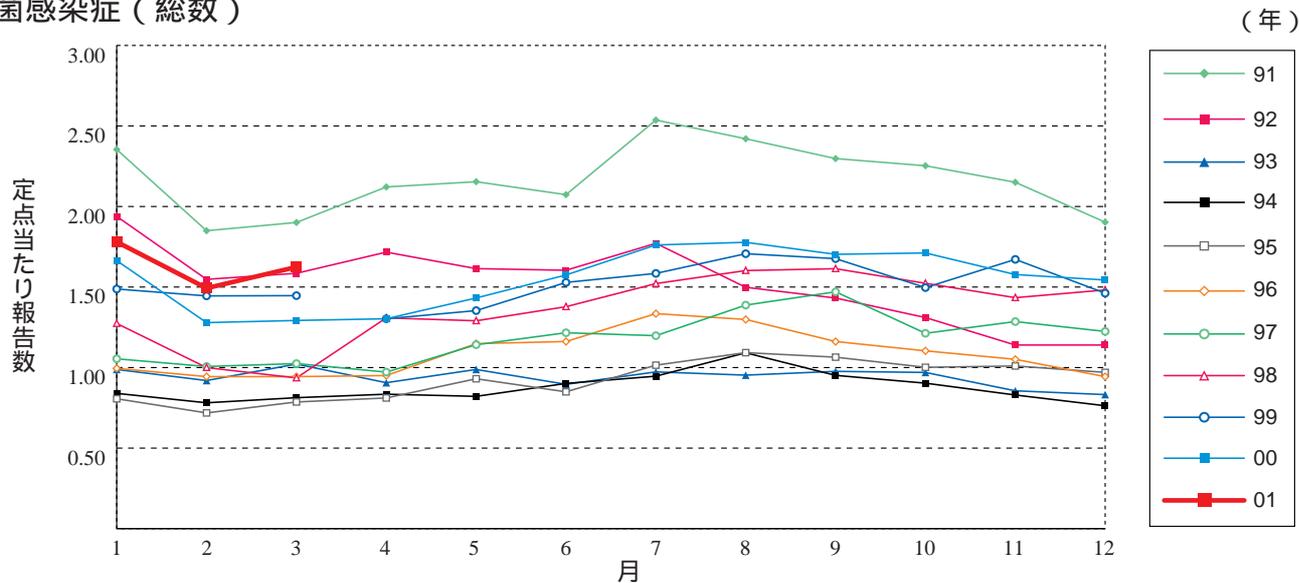
尖形コンジローム (男性)



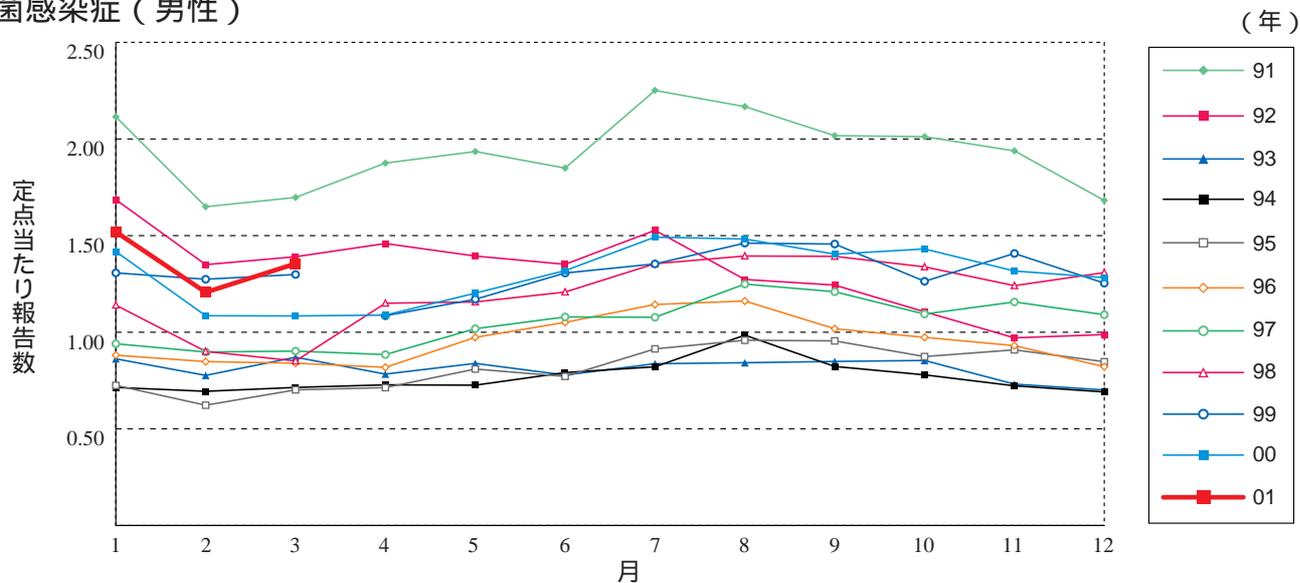
尖形コンジローム (女性)



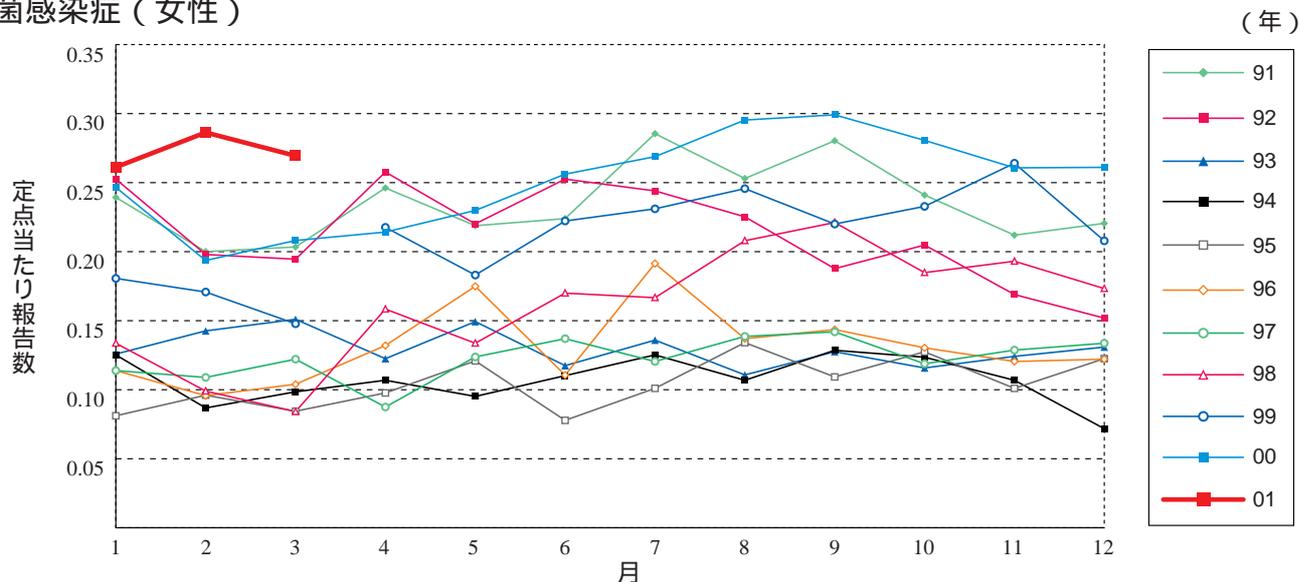
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

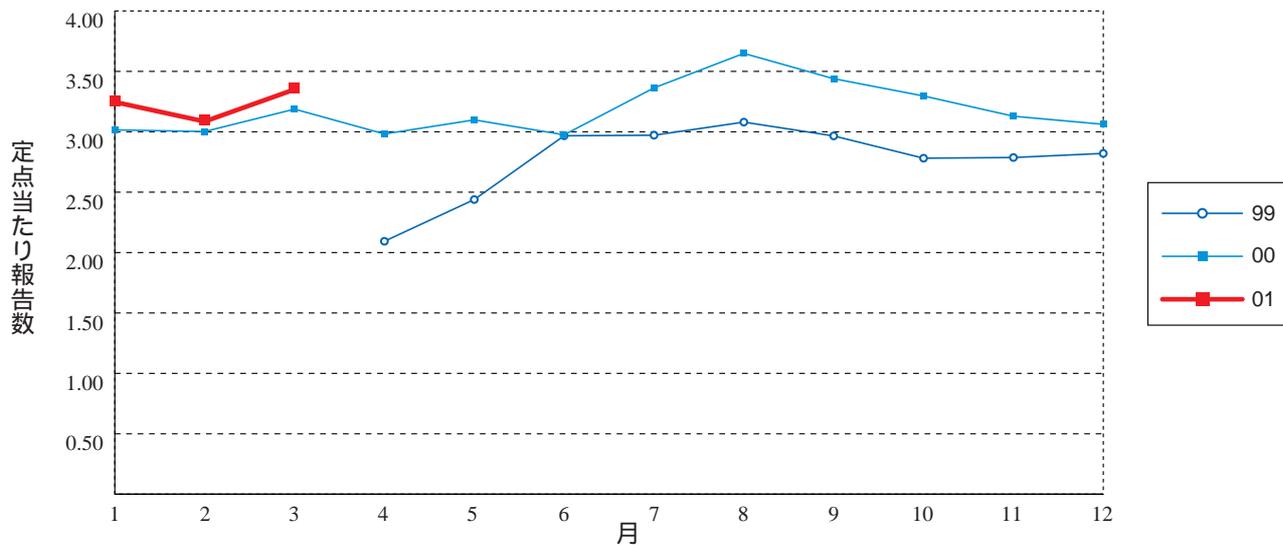


淋菌感染症 (女性)



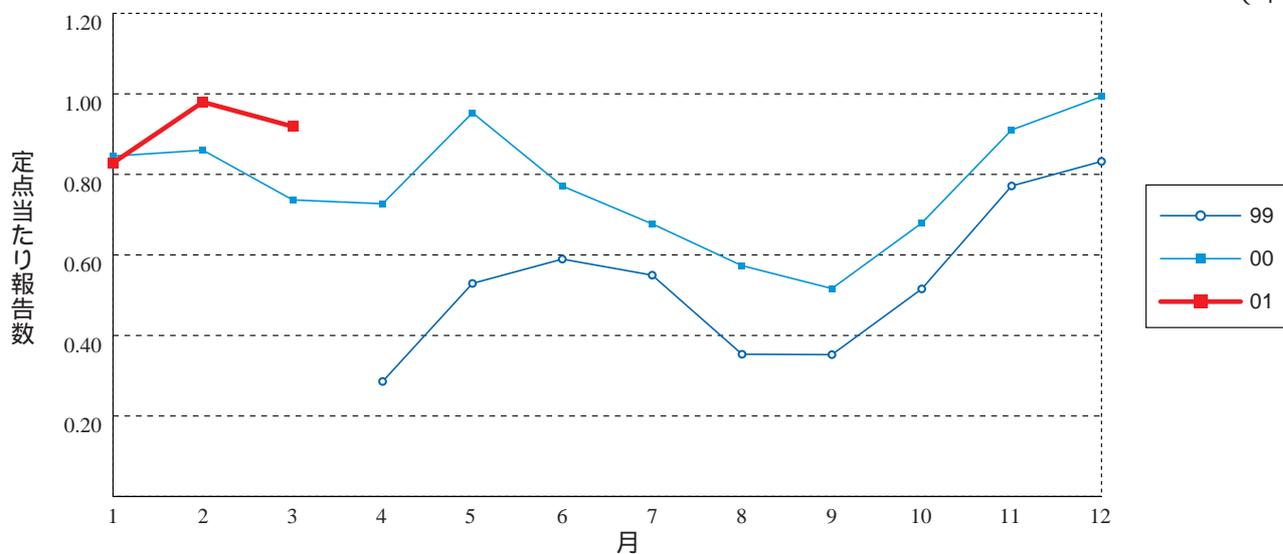
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



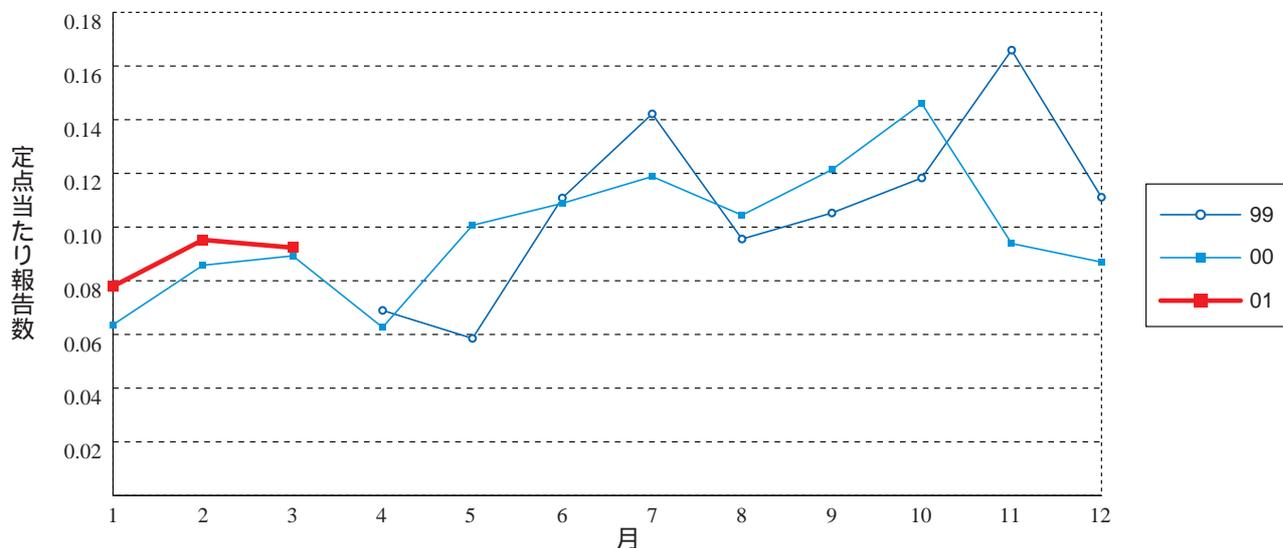
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





### 3月のデータ

注)表中の報告数は4月11日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成13年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3084	3.38	787	0.86	420	0.46	1483	1.62	1493	3.36	408	0.92	41	0.09
北海道	226	5.26	30	0.70	19	0.44	89	2.07	43	1.87	1	0.04	-	-
青森県	39	3.00	7	0.54	6	0.46	9	0.69	16	2.67	-	-	-	-
岩手県	73	5.62	13	1.00	11	0.85	24	1.85	46	2.30	1	0.05	3	0.15
宮城県	77	4.28	18	1.00	11	0.61	35	1.94	75	6.25	27	2.25	1	0.08
秋田県	19	1.36	4	0.29	1	0.07	5	0.36	15	1.88	5	0.63	-	-
山形県	16	1.60	2	0.20	2	0.20	4	0.40	35	3.89	7	0.78	-	-
福島県	37	2.31	7	0.44	5	0.31	26	1.63	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	81	4.76	8	0.47	6	0.35	44	2.59	14	1.75	-	-	1	0.13
栃木県	55	3.44	10	0.63	2	0.13	28	1.75	26	3.71	6	0.86	-	-
群馬県	129	5.16	14	0.56	7	0.28	32	1.28	27	2.70	13	1.30	-	-
埼玉県	177	3.47	33	0.65	16	0.31	71	1.39	32	3.56	3	0.33	4	0.44
千葉県	106	2.72	34	0.87	26	0.67	45	1.15	26	2.89	69	7.67	1	0.11
東京都	184	4.49	91	2.22	43	1.05	82	2.00	140	6.36	33	1.50	1	0.05
神奈川県	108	1.80	22	0.37	11	0.18	83	1.38	23	2.09	11	1.00	-	-
新潟県	38	2.00	10	0.53	9	0.47	26	1.37	47	3.62	13	1.00	-	-
富山県	34	4.86	5	0.71	6	0.86	10	1.43	26	5.20	12	2.40	1	0.20
石川県	27	2.70	6	0.60	4	0.40	8	0.80	23	4.60	7	1.40	-	-
福井県	8	1.60	1	0.20	3	0.60	6	1.20	23	3.83	7	1.17	-	-
山梨県	39	6.50	-	-	-	-	4	0.67	11	1.10	9	0.90	1	0.10
長野県	43	2.69	15	0.94	7	0.44	30	1.88	55	5.00	14	1.27	-	-
岐阜県	25	1.67	6	0.40	2	0.13	11	0.73	14	2.80	3	0.60	-	-
静岡県	78	2.00	12	0.31	7	0.18	17	0.44	44	4.40	19	1.90	-	-
愛知県	191	3.75	37	0.73	27	0.53	113	2.22	46	3.83	-	-	-	-
三重県	25	1.67	5	0.33	2	0.13	7	0.47	62	6.89	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	-	-	2	0.22	12	1.33	32	4.57	-	-	-	-
京都府	119	5.17	20	0.87	7	0.30	4	0.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	235	3.98	154	2.61	58	0.98	223	3.78	37	5.29	2	0.29	-	-
兵庫県	68	1.48	25	0.54	8	0.17	38	0.83	22	1.57	26	1.86	1	0.07
奈良県	28	3.11	10	1.11	1	0.11	14	1.56	15	2.50	11	1.83	1	0.17
和歌山県	9	1.13	9	1.13	5	0.63	7	0.88	12	1.20	2	0.20	1	0.10
鳥取県	19	3.80	1	0.20	-	-	-	-	4	0.80	4	0.80	-	-
島根県	11	1.83	1	0.17	-	-	6	1.00	34	4.25	14	1.75	-	-
岡山県	75	4.41	5	0.29	15	0.88	44	2.59	9	3.00	-	-	3	1.00
広島県	76	4.47	9	0.53	22	1.29	15	0.88	107	7.64	25	1.79	13	0.93
山口県	34	2.83	7	0.58	3	0.25	22	1.83	27	3.86	8	1.14	1	0.14
徳島県	8	1.33	3	0.50	1	0.17	2	0.33	7	1.00	1	0.14	-	-
香川県	33	3.67	6	0.67	3	0.33	12	1.33	33	6.60	4	0.80	-	-
愛媛県	27	2.45	7	0.64	1	0.09	14	1.27	2	0.33	-	-	-	-
高知県	13	2.17	-	-	-	-	13	2.17	56	7.00	24	3.00	3	0.38
福岡県	217	6.38	48	1.41	26	0.76	132	3.88	22	1.29	1	0.06	1	0.06
佐賀県	32	4.57	12	1.71	2	0.29	11	1.57	11	1.83	-	-	-	-
長崎県	9	1.29	16	2.29	2	0.29	3	0.43	4	0.44	-	-	-	-
熊本県	70	5.00	26	1.86	9	0.64	35	2.50	70	4.67	4	0.27	-	-
大分県	17	1.70	18	1.80	7	0.70	17	1.70	40	4.00	2	0.20	-	-
宮崎県	74	6.73	9	0.82	4	0.36	12	1.09	31	4.43	-	-	3	0.43
鹿児島県	33	2.06	6	0.38	7	0.44	30	1.88	10	0.83	-	-	1	0.08
沖縄県	36	3.00	5	0.42	4	0.33	8	0.67	36	5.14	20	2.86	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成13年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1303	1.43	334	0.37	236	0.26	1237	1.35	967	2.18	237	0.53	26	0.06
北海道	49	1.14	11	0.26	14	0.33	63	1.47	27	1.17	1	0.04	-	-
青森県	19	1.46	3	0.23	3	0.23	7	0.54	13	2.17	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	3	0.23	6	0.46	22	1.69	30	1.50	-	-	3	0.15
宮城県	37	2.06	3	0.17	3	0.17	30	1.67	48	4.00	15	1.25	-	-
秋田県	3	0.21	1	0.07	-	-	5	0.36	9	1.13	3	0.38	-	-
山形県	4	0.40	-	-	1	0.10	4	0.40	25	2.78	5	0.56	-	-
福島県	20	1.25	1	0.06	4	0.25	24	1.50	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	35	2.06	4	0.24	2	0.12	44	2.59	8	1.00	-	-	-	-
栃木県	34	2.13	5	0.31	2	0.13	23	1.44	15	2.14	6	0.86	-	-
群馬県	64	2.56	6	0.24	1	0.04	29	1.16	14	1.40	8	0.80	-	-
埼玉県	69	1.35	12	0.24	9	0.18	65	1.27	20	2.22	2	0.22	2	0.22
千葉県	41	1.05	23	0.59	13	0.33	40	1.03	17	1.89	34	3.78	-	-
東京都	109	2.66	39	0.95	25	0.61	66	1.61	97	4.41	16	0.73	-	-
神奈川県	75	1.25	17	0.28	8	0.13	78	1.30	18	1.64	6	0.55	-	-
新潟県	21	1.11	8	0.42	8	0.42	24	1.26	31	2.38	9	0.69	-	-
富山県	18	2.57	3	0.43	3	0.43	8	1.14	15	3.00	6	1.20	1	0.20
石川県	12	1.20	3	0.30	3	0.30	8	0.80	13	2.60	6	1.20	-	-
福井県	4	0.80	1	0.20	3	0.60	6	1.20	16	2.67	3	0.50	-	-
山梨県	5	0.83	-	-	-	-	3	0.50	8	0.80	5	0.50	1	0.10
長野県	11	0.69	3	0.19	5	0.31	21	1.31	33	3.00	7	0.64	-	-
岐阜県	17	1.13	4	0.27	2	0.13	11	0.73	9	1.80	2	0.40	-	-
静岡県	23	0.59	4	0.10	2	0.05	13	0.33	32	3.20	11	1.10	-	-
愛知県	109	2.14	26	0.51	23	0.45	99	1.94	33	2.75	-	-	-	-
三重県	13	0.87	4	0.27	-	-	7	0.47	42	4.67	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	-	-	-	-	12	1.33	19	2.71	-	-	-	-
京都府	6	0.26	2	0.09	3	0.13	2	0.09	-	-	-	-	-	-
大阪府	112	1.90	72	1.22	40	0.68	159	2.69	25	3.57	2	0.29	-	-
兵庫県	39	0.85	5	0.11	7	0.15	36	0.78	14	1.00	18	1.29	1	0.07
奈良県	22	2.44	5	0.56	1	0.11	13	1.44	9	1.50	6	1.00	1	0.17
和歌山県	7	0.88	3	0.38	4	0.50	6	0.75	5	0.50	1	0.10	-	-
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-	-	-	2	0.40	2	0.40	-	-
島根県	7	1.17	-	-	-	-	6	1.00	19	2.38	8	1.00	-	-
岡山県	18	1.06	1	0.06	6	0.35	37	2.18	6	2.00	-	-	3	1.00
広島県	21	1.24	5	0.29	6	0.35	12	0.71	74	5.29	14	1.00	8	0.57
山口県	10	0.83	-	-	3	0.25	15	1.25	18	2.57	6	0.86	1	0.14
徳島県	5	0.83	2	0.33	-	-	1	0.17	5	0.71	-	-	-	-
香川県	10	1.11	5	0.56	2	0.22	10	1.11	22	4.40	3	0.60	-	-
愛媛県	6	0.55	5	0.45	-	-	14	1.27	1	0.17	-	-	-	-
高知県	9	1.50	-	-	-	-	9	1.50	32	4.00	17	2.13	1	0.13
福岡県	106	3.12	13	0.38	9	0.26	110	3.24	14	0.82	1	0.06	1	0.06
佐賀県	15	2.14	-	-	1	0.14	9	1.29	9	1.50	-	-	-	-
長崎県	-	-	6	0.86	-	-	3	0.43	3	0.33	-	-	-	-
熊本県	25	1.79	12	0.86	6	0.43	25	1.79	41	2.73	4	0.27	-	-
大分県	4	0.40	8	0.80	2	0.20	14	1.40	25	2.50	2	0.20	-	-
宮崎県	30	2.73	1	0.09	1	0.09	11	1.00	19	2.71	-	-	2	0.29
鹿児島県	21	1.31	5	0.31	5	0.31	29	1.81	9	0.75	-	-	1	0.08
沖縄県	6	0.50	-	-	-	-	4	0.33	20	2.86	8	1.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成13年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1781	1.95	453	0.50	184	0.20	246	0.27	526	1.18	171	0.39	15	0.03
北海道	177	4.12	19	0.44	5	0.12	26	0.60	16	0.70	-	-	-	-
青森県	20	1.54	4	0.31	3	0.23	2	0.15	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	50	3.85	10	0.77	5	0.38	2	0.15	16	0.80	1	0.05	-	-
宮城県	40	2.22	15	0.83	8	0.44	5	0.28	27	2.25	12	1.00	1	0.08
秋田県	16	1.14	3	0.21	1	0.07	-	-	6	0.75	2	0.25	-	-
山形県	12	1.20	2	0.20	1	0.10	-	-	10	1.11	2	0.22	-	-
福島県	17	1.06	6	0.38	1	0.06	2	0.13	-	-	-	-	-	-
茨城県	46	2.71	4	0.24	4	0.24	-	-	6	0.75	-	-	1	0.13
栃木県	21	1.31	5	0.31	-	-	5	0.31	11	1.57	-	-	-	-
群馬県	65	2.60	8	0.32	6	0.24	3	0.12	13	1.30	5	0.50	-	-
埼玉県	108	2.12	21	0.41	7	0.14	6	0.12	12	1.33	1	0.11	2	0.22
千葉県	65	1.67	11	0.28	13	0.33	5	0.13	9	1.00	35	3.89	1	0.11
東京都	75	1.83	52	1.27	18	0.44	16	0.39	43	1.95	17	0.77	1	0.05
神奈川県	33	0.55	5	0.08	3	0.05	5	0.08	5	0.45	5	0.45	-	-
新潟県	17	0.89	2	0.11	1	0.05	2	0.11	16	1.23	4	0.31	-	-
富山県	16	2.29	2	0.29	3	0.43	2	0.29	11	2.20	6	1.20	-	-
石川県	15	1.50	3	0.30	1	0.10	-	-	10	2.00	1	0.20	-	-
福井県	4	0.80	-	-	-	-	-	-	7	1.17	4	0.67	-	-
山梨県	34	5.67	-	-	-	-	1	0.17	3	0.30	4	0.40	-	-
長野県	32	2.00	12	0.75	2	0.13	9	0.56	22	2.00	7	0.64	-	-
岐阜県	8	0.53	2	0.13	-	-	-	-	5	1.00	1	0.20	-	-
静岡県	55	1.41	8	0.21	5	0.13	4	0.10	12	1.20	8	0.80	-	-
愛知県	82	1.61	11	0.22	4	0.08	14	0.27	13	1.08	-	-	-	-
三重県	12	0.80	1	0.07	2	0.13	-	-	20	2.22	-	-	-	-
滋賀県	1	0.11	-	-	2	0.22	-	-	13	1.86	-	-	-	-
京都府	113	4.91	18	0.78	4	0.17	2	0.09	-	-	-	-	-	-
大阪府	123	2.08	82	1.39	18	0.31	64	1.08	12	1.71	-	-	-	-
兵庫県	29	0.63	20	0.43	1	0.02	2	0.04	8	0.57	8	0.57	-	-
奈良県	6	0.67	5	0.56	-	-	1	0.11	6	1.00	5	0.83	-	-
和歌山県	2	0.25	6	0.75	1	0.13	1	0.13	7	0.70	1	0.10	1	0.10
鳥取県	15	3.00	1	0.20	-	-	-	-	2	0.40	2	0.40	-	-
島根県	4	0.67	1	0.17	-	-	-	-	15	1.88	6	0.75	-	-
岡山県	57	3.35	4	0.24	9	0.53	7	0.41	3	1.00	-	-	-	-
広島県	55	3.24	4	0.24	16	0.94	3	0.18	33	2.36	11	0.79	5	0.36
山口県	24	2.00	7	0.58	-	-	7	0.58	9	1.29	2	0.29	-	-
徳島県	3	0.50	1	0.17	1	0.17	1	0.17	2	0.29	1	0.14	-	-
香川県	23	2.56	1	0.11	1	0.11	2	0.22	11	2.20	1	0.20	-	-
愛媛県	21	1.91	2	0.18	1	0.09	-	-	1	0.17	-	-	-	-
高知県	4	0.67	-	-	-	-	4	0.67	24	3.00	7	0.88	2	0.25
福岡県	111	3.26	35	1.03	17	0.50	22	0.65	8	0.47	-	-	-	-
佐賀県	17	2.43	12	1.71	1	0.14	2	0.29	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	9	1.29	10	1.43	2	0.29	-	-	1	0.11	-	-	-	-
熊本県	45	3.21	14	1.00	3	0.21	10	0.71	29	1.93	-	-	-	-
大分県	13	1.30	10	1.00	5	0.50	3	0.30	15	1.50	-	-	-	-
宮崎県	44	4.00	8	0.73	3	0.27	1	0.09	12	1.71	-	-	1	0.14
鹿児島県	12	0.75	1	0.06	2	0.13	1	0.06	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	30	2.50	5	0.42	4	0.33	4	0.33	16	2.29	12	1.71	-	-

注 4月19日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成13年3月

	結核
	報告数
総数	2878
北海道	91
青森県	28
岩手県	23
宮城県	30
秋田県	15
山形県	20
福島県	41
茨城県	44
栃木県	38
群馬県	28
埼玉県	152
千葉県	107
東京都	326
神奈川県	166
新潟県	45
富山県	17
石川県	27
福井県	13
山梨県	9
長野県	26
岐阜県	53
静岡県	65
愛知県	146
三重県	44
滋賀県	24
京都府	64
大阪府	398
兵庫県	150
奈良県	34
和歌山県	26
鳥取県	10
島根県	16
岡山県	41
広島県	37
山口県	24
徳島県	28
香川県	23
愛媛県	26
高知県	19
福岡県	160
佐賀県	14
長崎県	45
熊本県	35
大分県	21
宮崎県	44
鹿児島県	49
沖縄県	36



### 15週のデータ

注)表中の報告数は4月20日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年15週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	8	196	1	10	1	3		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	35	-	-	-	-	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	-	-	-	1	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	1	2	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年15週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	83	431	1	107	-	1	-	-	-	9	-	-	13	176
北海道	-	-	-	-	5	7	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
埼玉県	-	-	-	-	5	33	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	28	130	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	4	28	-	33	-	-	-	-	-	4	-	-	2	24
神奈川県	-	-	-	-	5	32	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
静岡県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	18	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	23	43	-	19	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15
兵庫県	-	-	-	-	1	12	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17
奈良県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7
山口県	-	-	-	-	4	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
福岡県	-	-	-	-	1	14	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年15週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	1	3	3	30	1	13	9	226	-	1	3	41	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	13	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2	2	-	2	1	5	102	-	-	3	24	-	-	-
神奈川県	-	1	-	-	1	1	-	2	-	1	26	-	-	-	4	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	4	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	13	-	-	-	4	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	3	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年15週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	-	2	49	-	8	-	-	-	-	-	-	1	143
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	1	29
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年15週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	9	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	23
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	3
神奈川県	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年15週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	9446	2.04	313	0.10	2657	0.89	15447	5.15	6009	2.00	631	0.21	1559	0.52	2675	0.89	44	0.01
北海道	322	1.40	4	0.03	187	1.29	301	2.08	181	1.25	5	0.03	39	0.27	105	0.72	2	0.01
青森県	140	2.19	-	-	19	0.46	84	2.05	66	1.61	7	0.17	22	0.54	17	0.41	-	-
岩手県	272	4.46	-	-	29	0.78	66	1.78	45	1.22	-	-	30	0.81	21	0.57	-	-
宮城県	315	3.25	8	0.14	47	0.80	379	6.42	140	2.37	-	-	70	1.19	54	0.92	-	-
秋田県	434	7.89	1	0.03	47	1.34	147	4.20	30	0.86	1	0.03	24	0.69	16	0.46	-	-
山形県	215	4.48	-	-	51	1.70	157	5.23	42	1.40	1	0.03	33	1.10	32	1.07	-	-
福島県	194	2.42	1	0.02	33	0.69	195	4.06	67	1.40	4	0.08	24	0.50	46	0.96	-	-
茨城県	98	0.83	3	0.04	74	1.01	267	3.66	107	1.47	4	0.05	23	0.32	48	0.66	3	0.04
栃木県	57	0.81	1	0.02	61	1.33	179	3.89	113	2.46	1	0.02	33	0.72	38	0.83	2	0.04
群馬県	140	1.40	4	0.06	75	1.21	205	3.31	124	2.00	-	-	13	0.21	62	1.00	-	-
埼玉県	460	1.81	11	0.07	167	1.05	918	5.77	352	2.21	24	0.15	203	1.28	172	1.08	2	0.01
千葉県	183	0.92	42	0.33	141	1.10	701	5.48	300	2.34	14	0.11	141	1.10	105	0.82	2	0.02
東京都	126	0.71	9	0.06	54	0.38	533	3.75	179	1.26	17	0.12	79	0.56	66	0.46	-	-
神奈川県	322	0.96	20	0.10	131	0.64	958	4.65	456	2.21	11	0.05	112	0.54	239	1.16	2	0.01
新潟県	266	2.69	15	0.25	139	2.32	357	5.95	67	1.12	-	-	16	0.27	55	0.92	1	0.02
富山県	334	6.96	1	0.03	54	1.86	134	4.62	37	1.28	2	0.07	5	0.17	23	0.79	-	-
石川県	156	3.25	-	-	41	1.41	354	12.21	52	1.79	5	0.17	16	0.55	15	0.52	-	-
福井県	88	2.75	5	0.23	17	0.77	221	10.05	50	2.27	-	-	13	0.59	16	0.73	-	-
山梨県	147	3.59	2	0.08	5	0.20	75	3.00	31	1.24	1	0.04	9	0.36	8	0.32	-	-
長野県	297	3.45	4	0.07	72	1.33	336	6.22	156	2.89	7	0.13	10	0.19	38	0.70	1	0.02
岐阜県	139	1.88	7	0.15	68	1.45	219	4.66	65	1.38	5	0.11	23	0.49	32	0.68	2	0.04
静岡県	417	3.04	5	0.06	81	0.94	450	5.23	298	3.47	6	0.07	55	0.64	95	1.10	2	0.02
愛知県	471	2.45	45	0.25	172	0.95	822	4.52	328	1.80	9	0.05	95	0.52	161	0.88	2	0.01
三重県	223	3.05	4	0.09	48	1.07	324	7.20	99	2.20	10	0.22	25	0.56	66	1.47	-	-
滋賀県	71	1.45	8	0.25	11	0.34	138	4.31	51	1.59	1	0.03	10	0.31	15	0.47	-	-
京都府	240	1.90	2	0.03	54	0.71	619	8.14	99	1.30	7	0.09	9	0.12	56	0.74	-	-
大阪府	375	1.24	8	0.04	90	0.47	993	5.15	266	1.38	7	0.04	65	0.34	148	0.77	10	0.05
兵庫県	331	1.67	20	0.16	85	0.66	932	7.28	252	1.97	15	0.12	39	0.30	132	1.03	1	0.01
奈良県	56	1.02	1	0.03	9	0.26	208	5.94	67	1.91	2	0.06	4	0.11	28	0.80	1	0.03
和歌山県	44	0.90	-	-	22	0.71	201	6.48	65	2.10	1	0.03	1	0.03	33	1.06	-	-
鳥取県	104	3.59	3	0.16	88	4.63	200	10.53	31	1.63	-	-	5	0.26	36	1.89	-	-
島根県	67	1.76	1	0.04	8	0.35	79	3.43	42	1.83	2	0.09	3	0.13	23	1.00	1	0.04
岡山県	148	1.76	11	0.20	37	0.69	298	5.52	85	1.57	2	0.04	9	0.17	30	0.56	-	-
広島県	163	1.99	7	0.14	72	1.41	338	6.63	132	2.59	8	0.16	42	0.82	75	1.47	1	0.02
山口県	226	3.23	21	0.43	32	0.65	294	6.00	130	2.65	25	0.51	28	0.57	67	1.37	-	-
徳島県	72	1.89	-	-	36	1.57	141	6.13	50	2.17	2	0.09	6	0.26	22	0.96	1	0.04
香川県	83	1.63	2	0.06	14	0.44	125	3.91	34	1.06	1	0.03	8	0.25	29	0.91	-	-
愛媛県	185	2.89	4	0.10	20	0.51	222	5.69	98	2.51	2	0.05	22	0.56	36	0.92	1	0.03
高知県	42	0.86	2	0.06	25	0.81	80	2.58	77	2.48	1	0.03	6	0.19	18	0.58	1	0.03
福岡県	274	1.68	4	0.04	64	0.61	585	5.57	219	2.09	102	0.97	84	0.80	94	0.90	2	0.02
佐賀県	89	2.28	-	-	13	0.57	123	5.35	79	3.43	30	1.30	11	0.48	46	2.00	1	0.04
長崎県	34	0.52	8	0.17	14	0.29	222	4.63	56	1.17	64	1.33	12	0.25	29	0.60	2	0.04
熊本県	143	1.77	12	0.24	28	0.57	280	5.71	135	2.76	87	1.78	22	0.45	56	1.14	1	0.02
大分県	181	3.12	2	0.06	21	0.58	303	8.42	127	3.53	5	0.14	15	0.42	46	1.28	-	-
宮崎県	289	4.82	2	0.05	51	1.38	350	9.46	151	4.08	86	2.32	27	0.73	59	1.59	-	-
鹿児島県	328	3.35	3	0.05	39	0.65	292	4.87	156	2.60	27	0.45	14	0.23	55	0.92	-	-
沖縄県	85	1.47	-	-	11	0.32	42	1.24	222	6.53	20	0.59	4	0.12	12	0.35	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年15週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	60	0.02	174	0.06	1345	0.45	4813	1.61	36	0.06	644	1.03	6	0.01	6	0.01	19	0.04
北海道	1	0.01	-	-	134	0.92	210	1.45	1	0.03	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	48	1.17	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	9	0.24	6	0.16	2	0.17	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	3	0.05	24	0.41	7	0.12	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	10	0.29	16	0.46	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	2	0.07	35	1.17	-	-	8	1.00	-	-	1	0.11	-	-
福島県	1	0.02	1	0.02	34	0.71	42	0.88	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	15	0.21	129	1.77	-	-	44	2.75	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	43	0.93	-	-	18	1.50	-	-	1	0.14	-	-
群馬県	-	-	8	0.13	13	0.21	58	0.94	1	0.07	28	2.00	-	-	-	-	-	-
埼玉県	9	0.06	9	0.06	56	0.35	427	2.69	-	-	48	1.33	1	0.11	-	-	2	0.22
千葉県	3	0.02	4	0.03	52	0.41	287	2.24	1	0.03	33	1.00	1	0.08	1	0.08	1	0.08
東京都	1	0.01	8	0.06	17	0.12	117	0.82	-	-	12	0.86	-	-	-	-	-	-
神奈川県	5	0.02	6	0.03	33	0.16	364	1.77	4	0.10	48	1.14	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	151	2.52	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	2	0.07	1	0.03	43	1.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	26	0.90	36	1.24	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	2	0.09	7	0.32	173	7.86	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	6	0.24	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.10
長野県	1	0.02	-	-	25	0.46	79	1.46	1	0.10	25	2.50	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	6	0.13	16	0.34	49	1.04	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	19	0.22	173	2.01	-	-	10	0.50	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	14	0.08	72	0.40	270	1.48	1	0.03	23	0.66	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	-	-	11	0.24	134	2.98	-	-	4	0.33	-	-	1	0.11	4	0.44
滋賀県	2	0.06	1	0.03	4	0.13	50	1.56	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	2	0.03	11	0.14	126	1.66	-	-	12	0.67	-	-	-	-	-	-
大阪府	13	0.07	26	0.13	73	0.38	264	1.37	1	0.02	19	0.37	-	-	-	-	1	0.09
兵庫県	2	0.02	8	0.06	18	0.14	136	1.06	4	0.11	23	0.66	-	-	-	-	2	0.14
奈良県	-	-	-	-	28	0.80	53	1.51	3	0.33	12	1.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	4	0.13	34	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	2	0.11	18	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	23	1.00	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	3	0.06	11	0.20	30	0.56	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.02	9	0.18	84	1.65	69	1.35	-	-	41	3.42	1	0.07	-	-	1	0.07
山口県	-	-	-	-	8	0.16	102	2.08	1	0.11	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	4	0.17	-	-	29	1.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	6	0.19	114	3.56	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	5	0.13	49	1.26	-	-	20	2.86	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	1	0.03	81	2.61	6	0.19	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	3	0.03	4	0.04	107	1.02	305	2.90	1	0.04	21	0.88	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	1	0.04	3	0.13	4	0.17	78	3.39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	2	0.04	13	0.27	19	0.40	33	0.69	12	1.20	30	3.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	14	0.29	109	2.22	179	3.65	1	0.11	11	1.22	1	0.07	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	6	0.17	88	2.44	62	1.72	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	20	0.54	58	1.57	-	-	16	4.00	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	4	0.07	3	0.05	29	0.48	57	0.95	-	-	6	1.00	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	2	0.06	58	1.71	35	1.03	-	-	13	1.30	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年15週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	65	0.14	5	0.01	23	0.05
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	1	0.08	5	0.42	-	-
秋田県	2	0.25	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	7	0.28
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	1	0.10
長野県	2	0.18	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.25	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	3	0.33	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	10	0.91	-	-	1	0.09
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.80	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	2	0.14
山口県	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	8	1.33	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	1	0.13
福岡県	4	0.27	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	2	0.20
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	0.14

感染症週報 第3巻、第15号 平成13年4月27日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html  
<国立感染症研究所 感染症情報センター>  
http://www.mhlw.go.jp/  
<厚生労働省>  
http://www.forth.go.jp/  
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。